

令和6年度使用小学校教科用図書

第2回海老名市教科用図書採択資料作成委員会 議事録

日時 令和5年7月5日(水) 午前9時30分から16時00分
会場 えびなこどもセンター201会議室

発言者	内 容
司 会	皆さま、おはようございます。開会に先立ちまして、海老名市教育委員会伊藤教育長より挨拶申し上げます。お願いします。
伊藤教育長	教育長よりあいさつ 教科用図書採択資料作成委員へのお礼
司 会	教育長は、ここで別公務のため退席します。
伊藤教育長	教育長退席
司 会	続いて、この会は、要綱第4条により、委員の半数以上の出席で成立し、本日の出席者は10名です。よって本委員会は成立している旨、お伝えいたします。 次に、開会の言葉を小宮教育担当理事より申し上げます。よろしくお願いします。
小宮教育担当理事	改めまして、本日は、お忙しい中、本当にありがとうございます。それでは、ただいまより第2回海老名市教科用図書採択資料作成委員会を始めます。一日長丁場になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。暑いので、水分等、適宜お取りいただき、体調等悪くならないようにしてください。どうぞよろしくお願ひいたします。
司 会	続きまして、奥泉委員長よりご挨拶をいただきます。
奥泉委員長	暑い中、また、お忙しい中、第2回採択資料作成委員会へご出席いただきまして、ありがとうございます。 本日までの経過を振り返りますと、6月26日から7月1日までの市の教科書展示会をこどもセンターで開催し、一般の方々に見ていただきました。また、小学校の教職員については、全小学校で教科書の見本本を1週間ずつ回覧して、見ていただきました。さらに、調査員会を4市合同で3回実施し、教科書を採択するに当たっての調査報告書を作成していただきました。本日、採択資料作成委員会では、調査員の調査報告書や学校意見の集計結果を基に意見をいただき、採択資料作成委員会報告書への記載内容の

	<p>審議を進めさせていただきます。</p> <p>なお、採択資料作成委員会報告書の表記については、前回確認した国の通知にありましたように、どの教科書が優れているなどの順位をつけるものではなく、各教科書の特徴を示すものであるということを改めて確認させていただきます。よろしくお願いいたしますします。</p>
司 会	<p>ここからの進行は奥泉委員長にお願いいたします。</p>
奥泉委員長	<p>では、本日の日程と資料の説明及び本日の審査方法について事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、本日の日程について説明をさせていただきます。お配りしてあります次第をご覧ください。この後、9時30分より種目ごとに調査員からの報告を受け、その内容を審議させていただきます。途中で休憩を入れながら、午前中に国語から生活までを予定しています。午後は1時より開始して、音楽から道徳までを午前中と同様に行います。最後に、学校意見をまとめた資料をお示しいたしますので審議させていただきます。閉会は16時頃を予定しています。長時間の会議となりますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、お手元の資料の確認をさせていただきます。資料は7点あります。1点目、本日の次第。2点目、紫色の表紙のメモ用紙1部。3点目、令和5年度使用小学校教科用図書一覧。4番目、教科用図書調査研究の結果。5番目、教科書編修趣意書、今お伝えした、3点目から5点目については机上中央に印刷したものがありますので、参考にしてください。</p> <p>6点目、教科書見本本については、申し訳ありませんが、お隣同士、2人で1セットとなりますので、参考にお使ください。</p> <p>最後に、事前に送付させていただいた黄色の表紙の調査報告書、以上7点になります。お手元に全ておそろいでしょうか。</p> <p>なお、教科書見本本を除き、資料には自由に書き込みをさせていただいて構いません。閉会時には、本日お配りさせていただきました資料及び事前に送付させていただいた資料は全て自席に置き、お帰りいただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、資料の説明及び審議の方法は麻生専任参事より説明いたします。</p>
麻生専任参事	<p>重複する説明もございしますが、ご了解いただければと思います。</p> <p>まず、1点目、本日の次第でございします。こちらは、本日の詳細な日程を記載していますので、ご確認をお願いできればと思</p>

ます。各種目の間に5分間時間がありますが、これは調整の時間とお考えいただければと思います。各種目の間が10分間空いているときに、休憩を入れたと考えております。

続いて、メモ用紙、一部でございます。各種目の発行者ごとに記入できるようになっていますので、ご自由にご活用ください。

3点目です。令和5年度使用小学校教科用図書一覧、A4版の縦のものです。こちらは、今年度使用している教科書の一覧となっています。

4点目です。教科用図書調査研究の結果でございます。これは、神奈川県内の現場の教員に調査を依頼しており、その調査結果をまとめた報告書となっております。ぜひご参考としてください。

5点目は、ひもでつづって、各机、テーブルに置いてあります編修趣意書でございます。

6点目、教科書見本本です。今は「国語」から「地図」までが置いてあります。途中で入れ替え等を行いますので、ご協力お願いしたいと思います。実際に教科書を見ていただく場面では、お隣同士で見合っ、ご覧いただければと思います。

そして、事前にお配りした黄色い表紙の調査報告書でございます。こちらは、繰り返しになりますが、調査員が合同で教科書を調査研究した結果でございますので、ご参考にしていただければと思います。

黄色の調査報告書について、確認も含めて再度説明させていただきます。こちらは、国語から道徳まで本日の審議するスケジュール順となっております。

1ページ目、お開けいただければと思います。各種目とも最初に総合資料がございます。2ページからは、各発行者別の調査結果を1社につき1ページでまとめたものとなっております。1ページ目の総合資料は、調査員が2ページ以降の発行者の特徴を総合所見としてまとめたものとなっております。

ここで、調査員の報告及び委員の皆様の審議について説明いたします。調査員は、調査員各自が調査研究し、まとめた発行者ごとの教科書の特徴を皆様にご説明します。説明の時間は、種目によって異なりますが、10分程度を予定しております。その後、委員の皆様から調査員へ質問等をしていただき、採択資料作成委員会報告書に記載する内容を審議していただくこととなります。先ほども申し上げましたが、この際、ご意見、ご感想等を述べていただいても構いません。学校意見の資料につきましては、後ほど学校意見の審議をするところで配付させていただきます。説明もそのときにさせていただきます。

以上で本日の日程と資料の詳細説明を終わります。よろしくお

<p>奥泉委員長</p>	<p>願いたします。</p> <p>ただいまの説明について質問はありますか。</p> <p>それでは、これより審議に入りたいと思います。先ほど事務局からの日程説明にありましたとおりに進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いたします。</p> <p>それでは、国語から始めます。調査員をお呼びください。</p> <p>教科書の調査、大変ご苦労さまです。では、早速ですが、調査結果の報告を願いたします。</p>
<p>調査員</p>	<p>では、調査結果の報告をよろしく願いたします。まず、国語ですが、調査報告書3ページでございます。ご覧ください。それでは、順番にご説明いたします。</p> <p>まず、東京書籍について説明させていただきます。</p> <p>1点目の特徴は単元扉です。2年生以上の教科書をご覧ください。どの学年も、2年生以上でしたら同じ構成になっております。例として5年生の教科書を使わせていただきます。例えば、このように見開きで単元扉が構成されています。これはどの発行者にもなく、こちらの発行者の特徴的な点と言えます。このように見開きで大きな写真や絵がどの単元でも示されていますので、大変児童の興味関心を引くような構成となっております。写真ですとか、イラストですとか、単元によって違いはあるのですが、どれも見開きでの構成となっております。また、写真やイラストと共に必ず学習の流れが示されておりまして、単元の学習を始める前にこのように学習していこうというのが示されているのが大きな特徴と言えるかと思えます。それが1点目です。</p> <p>続きまして、2点目を報告させていただきます。次に特徴があるのは1年生の教科書です。東京書籍1年生上の教科書をご用意ください。1年生上の58ページ、59ページをご覧ください。特に1年生の段階でつまずきやすい特殊音節や助詞について、特別支援教育の知見を生かした指導法である「多層指導モデルMIM(ミム)」というものが取り上げられています。こちらの58ページですと「猫」と「根っこ」、詰まる音の「っ」でつまずきやすい児童が多いのですが、これを例えば実演させていただくと「猫(手をたたきながら)」に加え「根っこ(手をたたきながら)」、手の動きを取り入れることによって、つまずきやすい児童も体感しながら学べるというのが特徴的な指導法として載っております。66ページ、67ページにも伸ばす音「おばさん」「おばあさん」のところでもまた</p>

<p>調査員</p>	<p>違った動きが出てきています。ほかにも拗音ですとか、様々なところで特徴的な指導法が載っています。この点につきましては、ほかの教科書会社と違うということを研究いたしました。</p> <p>以上の2点です。</p> <p>では、2者目の教育出版について報告させていただきます。</p> <p>大きな特徴としましては、全学年が上下分冊になっています。持ち物の軽量化に配慮されていることが分かります。ほかの発行者では、5、6年生は1冊ずつです。そこが、教育出版は5年生、6年生とも上下巻の2冊ずつになっております。5、6年生に関しては、ほかの発行者とは違いまして、ほかの学年と同じように、1年に2回、新しい教科書との出会いがあります。また、その出会いのところで、児童の学習への期待を高めるとというのが教育出版の特徴であると思います。</p> <p>次に、冒頭の「ひろがる言葉」の特徴をお伝えします。6年生下の教科書をお取りください。4ページをご覧ください。「ひろがる言葉」には1年間、どんな学習をするのかが領域ごとに分かりやすくまとめられています。その中で教育出版は、学ぶことの中にSDGsと関連のある単元がマークによって分かりやすく示されています。現代社会の問題を自らの課題として考えられる児童を育むことができるように工夫されています。また、教科書の上のほうには、児童会活動、委員会活動というふうに、カリキュラムマネジメントにもつながる視点もあらかじめ入っているため、そこが特徴的であると思います。</p> <p>以上が教育出版の主な特徴です。</p>
<p>調査員</p>	<p>最後に、光村図書の教科書の報告をさせていただきます。</p> <p>まず、例としまして、光村図書5年生の教科書36ページをお開きください。全ての学年に当てはまることですが、例として5年生を使わせていただきます。36ページ、一番右側に水色で色がついている「問いをもとう」というところに、このように学習していきましょうという見通しをもてるような工夫がしてあります。全ての単元において、この「問いをもとう」をきっかけとして学習が展開されていまして、児童自身が問いから目標をもち、学習の見通しを明確にして進めていけるような工夫がされています。また、それに付け加えまして、25ページ、この単元の最初の単元扉なのですが、「あなたにも共感できる場所はあるでしょうか。」というように問いかけから始まっておりますので、児童が教材文を読む前に、自分自身で問いをもちながら、どうだろうと考えながら学習を進めていけるような工夫が全単元においてされています。</p>

調査員	<p>光村図書の特徴の2つ目は、語彙力を豊かにするために、全教材を通して常に言葉に着目し「言葉の宝箱」などで語句を増やしていくことで、日常生活に生かせるような配慮がされているということが挙げられます。6年生の教科書をお開きください。巻末の307ページをご覧ください。光村は、語彙力というときに2つの観点が重要だと説明しています。多くの言葉を知る量の観点と適切に使えるようになる質の観点だそうです。この巻末には、学習上、必要だと思われる言葉が厳選されてまとめられています。例えば伝え合うための言葉は、友達と考え、交流するときなどに使える有用な型が示されています。次をめくっていただきますと、学習に用いる言葉がまとめられています。これは学習の中で初めて知った言葉でも、意味や使い方が分かると学習を深めるためのヒントになります。また、ほかの活用法としましては人物を表す言葉。例えば人物像を話し合うときに、この中から言葉を選ぶというところでも考えを深める手がかりになるよという活用例が光村では紹介されていました。1年生では41の言葉、2年生では90、6年間で約590の言葉が紹介されていることが特徴です。</p> <p>以上で国語科の調査報告を終了します。ありがとうございました。</p>
奥泉委員長	<p>ただいまの報告について、質問がありましたらお願いいたします。</p>
加来委員	<p>それぞれの特徴は、分かりました。それがその発行者によって一貫して、例えばある出版社は何年生かを例に取りましたけれども、それは一貫して1年生から6年生までと捉えてよろしいですか。</p>
調査員	<p>1年生から6年生というよりは、特に2年生から6年生の特徴です。1年生は特にスタートカリキュラムというところで、教科書のつくりもほかの学年とは違うつくりになっています。</p>
加来委員	<p>分かりました。</p>
奥泉委員長	<p>ほかにご質問等ありましたらよろしくお願いいたします。</p> <p>ほかにはないので審議に入ります。何かご意見ありますか。感想などでも結構です。お願いいたします。</p>
 委員	<p>保護者という立場で、全国学力・学習状況調査をホームページで拝見したところ、海老名市は、若干でありますけれども、神奈川県、そして全国よりも少し低いということで、そこだけ切り取って、テストが全てではないということは前提に置きながらも、</p>

<p>和田委員</p>	<p>やっぱり保護者としては、国とか県より上のほうが誇らしいといった気持ちは当然あります。そういった中で、ホームページに出ていましたが、課題解決に向けてということで、自分の文章のよいところを見つけ、それを言葉で表すとか、自分の考えをまとめるためとかとありました。先ほどご説明はなかったんですが、4ページ、5ページのそれぞれの会社の教育基本法との関連などのところで、それぞれ課題の解決に向けての意見や感想といった表現がありますので、これはぜひ入れていただきたいなという思いはございます。</p> <p>どの教科書会社も、子どもたちがどのように教科書と向き合っていて、どんな課題をこれから勉強するのかなということが分かりやすく、そして見通しがもてるようになっていくんだというのがすごくよく分かりました。ありがとうございました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるか、協議します。1ページの総合資料をご覧ください。調査員からはこの部分が特に特色があると報告されています。この総合資料に加筆または削除すべき事項はありますか。</p> <p>基本法との関連という項目を1つここに付け足して、確認するという形でいかがですか。教科により相違というのはあり得るのかなと思います。各教科はそれぞれの特徴がありますし。</p> <p>国語は大変でしたよね。でも、すごくいい視点でまとめているので、それにプラスアルファで新しい視点というのは、もしここで加わるならよろしいかなと、私、個人的には思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>課題解決というところを考えると、調査員の方にもお聞きしますが、学校教育法第21条1号に関連してという真ん中の部分がそれに近いと思います。ただ、各発行者によつての捉え方もあります。そこは確認したほうがいいです。3つの内容でいくと、真ん中がそれに近いと考えます。いかがでしょうか。</p>
<p>調査員</p>	<p>おっしゃるように真ん中の項目が近いと思います。ただ、どの発行者でも、学習過程を「見通す」「取り組む」「振り返る」ような段階で書くことを中心とした学習のまとめになっていて、その後、友達と広げていくという構成になっているのはどの発行者も同じで、この発行者がすごく特徴的であるというわけではなかったもので、今回3者共通しておりましたので、総合資料にはあえて載せないという選択を取りました。ただ、とても大切な視点だとは、私も思いました。</p>

<p>奥泉委員長</p>	<p>大変分かりやすい説明を念頭に置いて調査したけれども、3者とも同じように、そこはやっぱり大事な部分だったかなということで載せている感があって、いわゆる特徴というふうにはあえて記載したわけではないようです。</p> <p>以上、整理しましたので、この内容を採択資料作成委員会の報告書として記載してよろしいですか。</p>
<p>一 同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会へ報告いたします。調査員の方、本当にご苦労さまでした。ありがとうございました。</p>
<p>調査員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>続いて「書写」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦労さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしく願います。</p>
<p>調査員</p>	<p>それでは、調査報告書9ページをご覧ください。まず、東京書籍についてです。東京書籍は、教育基本法に示されている「資質・能力」に関連して、「知識・技能」を習得するために、「書写のかぎ」というものが各学年で示されています。2年生の18ページをご覧ください。こちらの右下のページに「書写のかぎ」というものがございます。1つの画を長く書く、ほかの画は大体同じというふうに、分かりやすくこちらの「書写のかぎ」が各学年で示されています。6年生の巻末に1年生から6年生の「書写のかぎ」全てをまとめて掲載しております。また「生活に広げよう」「学びを生かそう」というものによって、日常生活や国語科、また、他教科と関連させたりするような活動が取り上げられています。</p> <p>引き続き、2年生の15ページをご覧ください。15ページ「生活に広げよう」では、連絡帳を書こうという例があります。子どもたちは、次の日の時間割を書いたりすることで、日常的に連絡帳を書くことがございます。こちらは、縦書きの書き方が例として示されています。</p> <p>引き続き2年生の教科書38ページをご覧ください。38ページの「学びを生かそう」では、「ありがとう」を伝えるために感謝の気持ちを伝える手紙の書き方について説明されています。ほかの学</p>

年では「生活に広げよう」では、理科や社会、国語、総合的な学習など、「学びを生かそう」では、作文、はがき、書写の展覧会などいろいろなものについて記載されています。そのほかにも「文字といっしょに」というコーナーで、鉛筆の作り方、書写の筆記具についての興味を深めたり、クイズ形式を取り入れ子どもたちの興味を引いたりするようなものが出ています。

また、2年生の6ページから7ページをご覧ください。こちらでは、鉛筆の持ち方として、右手だけではなく、左手の持ち方も写真を含めて、こちらの右下の二次元コードを読み込むと、左利きの鉛筆の持ち方などについても掲載されています。東京書籍は、以上になります。

続いて、教育出版になります。教育出版は4年生の教科書を例に幾つか説明させていただきます。教育出版は「適切に運筆するための能力」を育成するために、筆記用具の持ち方とよい姿勢の習得について多く記載されています。8ページをご覧ください。よい姿勢の説明の中に、1番、腰をぴんと伸ばす「腰ぴん」という言葉が書かれています。今までほかの学年では背中をぴんと伸ばすことは書かれていましたが、教育出版では、腰をぴんと伸ばすことによって、長い時間書いても疲れにくいという姿勢について説明されています。こちらは、よい姿勢で書くということについて、かなり重点的に説明されています。

また、習得した書写の能力を各教科等の学習活動や日常生活に生かすために「レッツ・トライ」というコーナーを設けています。4年生の28、29ページをご覧ください。ここでは、理科のノートの取り方について説明がされています。問題、予想、計画、結果、結論というふうに内容のまとまりごとに行を空け、こういった書き方をすると分かりやすいということで、他教科の関連が示されています。1年生では生活科で植物の観察や生き物の観察を書く観察カードの書き方や、2年生では図工の作品カード、自分の作品の説明を書く、また、3年生でははがきで伝えよう（国語科）、5年生、総合のポスターづくり、6年生学活のリーフレットなど、国語科、その他教科との関連が多く掲載されています。

そのほか、学習の進め方についての表記がございます。引き続き4年生の5ページをご覧ください。学習の進め方のところを説明いたします。学習の進め方を「つかむ・考える、書く・たしかめる、ふり返る、生かす・広げる」の4段階にまとめて、児童が毎時間、自ら見通しを持って取り組むことができるように工夫されています。こちらは各学年の導入部分に記載があります。また、そのまま表紙裏部分を見ていただきますと、巻頭の見開きのページに漫画形式で手書きの文字のよさについて書いてあったり、こういったクイズや漫画形式で子どもたちの興味関心を引い

	<p>たりするような記述になっております。教育出版は、以上です。</p> <p>続いて、光村図書です。光村図書は、3年生を主に使用して説明させていただきます。光村図書では「ねらい」「たいせつ」「学習の進め方」という表現によって、児童が主体的に学ぶための工夫がされております。3年生の24ページをご覧ください。こちらは、手紙の書き方、その次のページにはローマ字について説明してあります。こちらは「書写広げたい」というコーナーになります。各学年において、1年生では生活科との関連や、4年生は理科、5年生は外国語といったいろいろな関連したものを取り上げております。また、3年生の表紙をめくったところをご覧ください。3年生から毛筆が始まります。3年生の巻頭には、毛筆スタートブックとして、毛筆を使った学習についての説明がされています。こちらの中で姿勢や筆の使い方について説明がございします。各ページに二次元コードがありまして、動画や写真による説明があります。</p> <p>9ページの用具の片づけです。3年生で書写が始まり、片づけの方法も初めて子どもたちは学びます。そのため、用具の片づけの方法も動画で大変詳しく説明されております。そのほか、文字の書き方についても、二次元コードを読み取って説明できるようになっております。</p> <p>そのほか、4年生では、SDGsに関係したものを特集したSDGsブックがあつたり、各学年に応じた物語やことわざ、俳句、詩などいろいろなものを特集したりしたものが掲載されております。光村図書は、以上です。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>ただいまの報告について、ご質問等ありましたら出してください。お願いします。</p>
<p>梶山副委員長</p>	<p>10ページの教育出版の内容と構成の中で、一番上の丸ですが、「人権教育に関連して、……人権に対する配慮されている」と書いてありますが、ご説明がありませんでした。もし何かありましたら、ご説明いただけたらと思います。</p>
<p>調査員</p>	<p>人権に関係したものは、表紙をご覧くださいと、教育出版は全て表紙が男の子と女の子の引用がなされております。また、中を見ていただきますと、書き方の説明に登場してくるのも男の子と女の子両方だったりします。また、書かせる言葉の手本として、1年生、友達だとか、4年生、平和とか、5年生、平和の地、世界の国、6年生、平等、伝統、アジアの仲間など、男女だけではなくて、情緒的なものを意識した配慮がされています。</p>

梶山副委員長	ありがとうございました。
奥泉委員長	ほかにいかがですか。 ほかになければ審議に入ります。何かご意見または感想などでも結構ですので、よろしく願いいたします。
山形委員	説明の中であった光村図書の二次元コードを読み込んで、動画で用具の片づけが見られるというのは、教員が事前に教材研究をする際にも役に立つと思いました。感想です。
梶山委員	3者とも、ただ字をきれいに書くとかだけではなくて、各他教科とか日常生活を関連づけているところがどの教科書もいいなと思いました。私もそこが一番大事なような気がするので、工夫がされていてよいと思いました。感想です。
奥泉委員長	3者とも特徴がすごく分かりやすかったと思いました。書くだけではないですね、書写というものは。ICTが進んで、子どもも手書きでという機会がどんどん少なくなっているのです。そういう意味では、すごく各社とも工夫されているなと思いました。 ほかにいかがですか。 それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるのか、協議します。7ページ、総合資料をご覧ください。調査員からは、この部分が特に特徴的であると報告されています。この総合資料に加筆または削除すべき事項がありますか。 なければ、この内容を採択資料作成委員会の資料の報告書として掲載してよろしいですか。
一 同	異議なし。
奥泉委員長	それでは、この総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会へ報告いたします。調査員の方、本当にご苦労さまでした。
調査員	ありがとうございました。
奥泉委員長	続いて「社会」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦労さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしく願いいたします。
調査員	調査報告書15ページになります。 まずは東京書籍の新しい社会です。特徴の1つ目です。1人1

調査員

台端末の活用を想定し、多様なデジタルコンテンツを掲載していて、一人ひとりの学習や、クラスで行う協同的な学習などの様々な場面で活用し、対応できるようになっております。また、そのデジタルコンテンツを充実させることで、教科書の内容を堅持しながら、今の子どもたちはランドセルが重たいと言っているため、その対策を取っていると思います。このことから、6年生の教科書が2冊に分かれています。他者は1冊にまとめられており、大きく歴史と政治・国際ということで、2冊に分かれているのが特徴です。

もう1つは、教育基本法第2条に関連して「学習の進め方」や「まなび方コーナー」を提示し、主体的に問題解決的な学習を進めること、また、基礎的・基本的な機能が定着できるように配慮されています。例えば3年生、オレンジ色の教科書の最初の3ページになります。この教科書はドラえもんがキャラクターとして採用されていますが、学習のスタートで、このページを見て、手順、使い方とか流れが書いてあるため、先生はもちろん、子どもたちにもすごく分かりやすく学び方を教えられると思います。

次に、教育出版のご報告をさせていただきます。総合資料は13ページになっております。ご覧ください。神奈川県のごがたくさん教材に記載されているということが大きな特徴だと思います。

まず、教育出版の3年生の教科書をご覧ください。3年生の最初の単元、わたしたちのまちと市のところですが、横浜市のごが教材になっています。4年生の教科書をご覧ください。4年生も神奈川県が教材に使われています。50ページをご覧ください。水に関する単元ですが、水はどこからというところで神奈川県の間模川が採用されています。また、4年生の工芸の単元ですが、172ページに寄木細工のごが載っています。海老名市は、遠足で箱根の寄木細工とかを作りに行きます。

そして、総合資料に書かせていただきましたSDGsが各学年で取り上げられています。3年生の教科書であれば、162ページに単元ごとにSDGsとつなげて考えられるように、所々にSDGsとの関連について書かれています。教育出版の説明はこれで終わりたいと思います。

次に、日本文教出版の教科書を報告させていただきます。日本文教出版の4年生の教科書をご覧ください。日本文教出版もSDGsが取り上げられています。全学年、巻末にSDGsのシールがついています。単元ごとに、この単元はどういう観点のSDGsと結びつけられるのか、シールをノート等にも貼って考えられるようになっていきます。そのシールは、貼っても剥がせるため、

<p>奥泉委員長</p>	<p>子どもたちが間違えて貼ってしまった、やっぱりこちらの視点だよねというときには、貼り直せるようになっています。</p> <p>SDGs のことについて取り上げられていることに併せて、デジタルコンテンツがたくさんあります。6年生の教科書の写真ですが、205ページをご覧ください。日本文教出版はデジタルコンテンツが多く活用されていて、写真1枚ごとにこのように二次元コードが掲載されています。これを読み込むと、この写真が動き出します。併せて、15秒ほどの動画が見られるようになっています。</p> <p>また、教育出版の6年生の教科書は、歴史の写真がカラーで復元されています。分かりやすいのは、212ページをご覧ください。私たちの世代は白黒で昔という感覚がありますが、今の子どもたちはカラーの方がイメージしやすいと考えます。教育出版は、写真がカラーというところが、特徴だと思います。</p> <p>ただいまの報告についてご質問等ありましたら、よろしく願いいたします。</p>
<p>加来委員</p>	<p>日本文教出版は動画が見られるということですが、学校でタブレット端末を使っています。タブレット端末は、すぐに立ち上げられて、それが使用できる状況ですか。例えば写真1枚1枚見る時に、学校では立ち上げて、パスワードの入力に時間がかかり、動画を見るのに1分、2分かかります。そういうことはないから、効果的ですか。</p>
<p>調査員</p>	<p>高学年になると、子どもたちは机の中にタブレット端末を入れて、授業ごとに自分が必要なときに出して使える状態になっています。操作としては、自分のパスワードを入力して写真を撮ったら、すぐに見ることができるようになっています。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>高学年でなくてもどんどん使いますよね。</p> <p>ほかにいかがですか。</p> <p>ほかにないようですので、審議に入ります。ご意見または感想などでも構いませんが、ありましたら、よろしく願いします。</p>
<p>盛委員</p>	<p>ご説明、ありがとうございます。どの教科書もSDGsや地域に関するデジタルコンテンツがすごく充実しているため、子どもたちが視覚的なところでもすごくやりやすいのかなど。また、地域に根差したところで教材間が繋がって、他教科との連携とかも含めてできるため、かなり充実しているなと思いました。</p>

奥泉委員長	<p>身近な教材を扱っているというのは、やっぱり大きいです。3者ともそれぞれいいところがあると思います。</p> <p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるか、協議いたします。この総合資料に加筆または削除すべき事項がなければ、この内容を採択資料作成委員会の報告書として記載してよろしいでしょうか。</p>
一 同	<p>異議なし。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会へ報告します。</p> <p>では引き続き、地図の審議に入っていきたいと思います。説明をよろしくお願いします。</p>
調査員	<p>では、地図帳の調査報告をさせていただきます。調査報告書 21 ページになります。</p> <p>まずは、東京書籍の「新しい地図帳」をご覧ください。最初に世界地図が載っています。世界地図の国の名前には、日本語表記と英語表記を併用しているところがあります。また、国際理解につながる表現が出ています。東京書籍は全部国の名前が書かれているところに特徴があります。</p> <p>次のページの冒頭を見ていただきますと、日本のイラストマップとなっており、日本の建造物や食文化のイラストが掲載されています。子どもたちにとっては大変イラストが分かりやすく、地図帳が楽しいな、これからいろいろ見ていきたいなというふうに意欲を持たせるような内容になっています。</p> <p>どのページでも言えますが、地図帳を見ていただくと、地図の中の文字や記号が大きく、フォント、太さの違いがあまりないため、読みやすい表記となっています。</p> <p>これは個人差があるかもしれないですが、ページのめくりやすさがあり、紙質がしっかりしていると我々は思いました。これは、個人の見解です。東京書籍は、以上です。</p> <p>では、続きまして、帝国書院の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」です。99、100ページをご覧ください。例えば真上からの航空写真、を載せてあり、いろいろな表現がされています。また、二次元コードが載っており、タブレットを活用してコンテンツの利用ができます。子どもたちは、デジタルコンテンツを利用した学習をすごく楽しく取り組みます。このことから、学習意欲の向上につながるように工夫されております。</p> <p>86ページを開いてください。併せて、東京書籍の57ページをご覧ください。例えば、帝国書院は国ごとに色分けがされており、</p>

<p>奥泉委員長</p>	<p>東京書籍は色分けがされていません。このページを見るだけでも、それぞれの特徴が出ていると思います。</p> <p>それでは、今の説明について、ご質問等ありましたら聞かせてください。</p> <p>ないようですので、ご意見または感想などでも構いません。ありましたら聞かせてください。</p> <p>子どもたち、楽しそうですね。情報がいっぱい、すごいですね。そして、見やすいですね。</p>
<p>霜島委員</p>	<p>私は、地図帳が結構好きで、子どもの頃、首都東京の六本木を見て、うれしいなと思って、子どもの気持ちになったところですが、今、比較して説明していただいたところで、それぞれの会社、2者の特徴がすごくよく分かりました。分かりやすい説明でした。ありがとうございました。感想です。</p>
<p>盛委員</p>	<p>東京書籍は世界地図等に、ベートーベンがドイツに出てきたり、杉原千畝と関わりがあったり、歴史とも関連して編修されているため、見ていて関心を引くことが面白いなと思いました。帝国書院は、イラストが国ごとに色分けしていたりとかしているの、地形だけではなくて、子どもに分かりやすい工夫をしていると思いました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、これでなければ、この内容を採択資料作成委員会の報告書として記載したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会へ報告いたします。調査員の方、ご苦勞さまでした。ありがとうございました。</p>
<p>調査員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>ここで休憩して、再開は10時50分からとします。</p> <p>(休 憩)</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、「算数」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦勞さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしく願いいたします。</p>

調査員

それでは、順番にご説明いたします。調査報告書の25ページをお開きください。

では、東京書籍からお話しします。そこに書いてある「教育基本法第1章第2条に基づき」というところです。考える力を身につけさせる工夫として、2年生下の教科書の最初のページ、見開きになっているページですが、例えばかけ算の導入のところで、数えにくいものと数えやすいものを比較させることで、掛け算も同じく、1つ分が幾つ分というところにつながりやすくなる工夫がされています。5年生下の教科書26ページのところでは、ここも同じですが、混み具合を考えさせる単分量当たりのところでそれぞれ比較がしやすくなっています。こういうところが東京書籍の工夫の一つではないかなと感じています。目当てとまとめが一致しているという点もよさであります。また、今の5年生下の教科書を見ていただくと、みさきさんとこうたさんが吹き出しで言っていますが、この吹き出しも全部を言うのではなくて、途中までのところで、子どもたちがその続きを考えたり、思考のヒントになるようなことを載せたりしているという点が他の発行者とはまた違った特徴であると思いました。

続いて、2つ目です。1年生の別冊のことについてお話しします。具体物についてです。1年生の最初、入学して間もない子たちですが、A4サイズ、あえて平べったくされていて、ぺたんと開くことで、ここに算数ブロックを実際に置きやすくしています。他者では、そうではないものもあって、分厚さがあると、ブロックを置いたときにガラガラと流れてしまいます。今、4ページを開いていますが、こういう工夫がされていたり、浮き上がって見えて見やすかったりというところが特徴だと思います。そして、同じ具体物というところでは、2年生の教科書ですが、実際に物を出したりとか、3年生もクリップを使ったり、こういうところが東京書籍の特徴であると思って見ていました。

続いて、大日本図書に移ります。大日本図書の大きな特徴としては、学びについて特化したページがあるということです。2年生から6年生のどの教科書でもいいですが、6ページ、7ページをご覧ください。学年の最初のページに「学び方」というページがあり、問題をつかんで、自力解決、練り上げ、そして深めていくということが1ページ見開きで載っていて、対話を通して学んでいくということを意識されている出版社であると感じています。その際、例えば2年生の42ページをご覧くださいと、子どものセリフで対話のイラストが描かれており、このように子どもたちが学びをつくっていくことを意識している出版社のように感じています。

もう1つ、特徴として挙げさせてもらったのがいろいろな配慮

調査員

が見られると思いました。具体としてはルビ振りです。ほかの出版社は、その学年で習う漢字にはルビ振りがされていません。大日本図書に関しては、例えば1年生は片仮名。1年生は習わない片仮名の最初にルビを振ってあるだけではなく、最後まで片仮名にルビ振りがあります。そして、それ以降の学年も、その学年で習う漢字であっても最後までルビ振りされているというところが配慮という点で1つの特徴であると思いました。

また、人権的な配慮として外国籍の人が出ているというところも大日本図書の1つの特徴であると思って拝見していました。そして、写真では車椅子の子が説明している場所が出ており、そういう意味でも人権意識が強い出版社だと感じて見ていました。以上、大日本図書です。

では続きまして、学校図書についてです。学校図書は「考え方モンスター」というキャラクターが、1年生以外の教科書には巻頭に必ず出ています。私は今、3年生の教科書を見ていますが、どの学年にも最初に「考え方モンスター」が出てきます。今のお子さんたちは、キャラクターになじみがあるということで、いろいろな考え方をキャラクターに分けて載せています。このキャラクターが巻頭に出てきていますが、中を見てみると、所々にこの考え方を使ってやってみようというキャラクターが随所に出てきていて、子どもにはなじみやすいと思いました。

もう1つ、数量関係を学習する際には、5年生上の82ページをご覧くださいと分かりやすいと思います。こちらは、単位量当たりの大きさの学習です。数直線はどの会社にも出ていますが、数直線と4マス関係表というものが併せて出ていて、この単元を通して数直線と4マス関係表が出ているため、子どもがどちらもやり方を知った上で、自分がやりやすい、自分に合ったやり方を選べるというところが1つの特徴であると思っています。これが5年生で掲載されていますが、6年生でも同じように掲載され、このように学年を通して扱っているというところが特徴だと思いました。

次、教育出版です。教育出版は各学年に両開き、最初の巻頭に、特設教材が設定されています。今、私が持っている2年生上では、7ページに「算数が好きになる はじめの一步」と題しまして、ココアがいくつというかわいらしい挿絵が出ています。ココアなので、コとコには同じ数字、アは別の数字で計算してみようみたいな形で、2年生の最初なので、1年生で学習した繰り上がりがある足し算の流れから、子どもたちが対話しながらいろいろ考えていきます。内容としては計算問題ですが、図で興味を引くようにつくられていると思っています。これが2年生でしたが、ほかの

学年でも最初に算数に取りかかりやすくなるような工夫がされていると思っています。

同じく教育出版でもう1つ感じたことが、日常生活から問題を見いだす場面、それだけでは算数は進んでいかないため、算数の学習から問題を見いだす場面というのがバランスよく設定されていると感じました。例えば3年生上の71ページですけれども、こちらはよくある教室の黒板の写真が載っている長さの学習です。長さを予想するという子どもたちに、一番なじみがある話をします。授業のときにも一番なじみがある黒板を題材に、長さはどうかかなというような身近なところから問題を見いだしていくという場面、これは6年生の56ページです。分数の掛け算の単元なんですけれども、これは、生活の場面、身近な場面からというものは少し難しくて、算数の学習でやらなければいけないという問題で始まっています。そのあたりが身近な問題、算数の学習というところで、バランスよく配置されているかなと感じました。

あとは、モジュール授業を取り入れている学校からすると、10分から15分ぐらいの短い時間でも学習できる問題も随所に出ているので、そこは扱いやすいと感じました。以上、教育出版についてです。

では次に、啓林館です。先ほど学校図書で4マス関係表という話をさせていただきましたが、啓林館でも同様な内容が、例えば5年生の274ページにあります。これも数量関係を表す図のページですけれども、啓林館の場合は数直線と関係図を併せて載せていて、これは5年生ですが、6年生にもつながる考え方であるため、子どもがいろいろなやり方をして、自分で選択できるようになっていると感じています。

次に、教科書に出ている主問題の全てに解説動画というものがついています。例えば、今持っている5年生の最初の整数と小数ということで、11ページの最初の問題です。この問題の右上に解説動画の二次元コードが出ています。これを読み込むと解説をします。そういう動画が主問題全てにあり、全部で971あるということです。このことから、これは学び直し、家で確かめてみたり、例えば欠席をしてしまった場合に家でもできたりとか、そういうメリットはあると思っています。これをどう使うかというのがまた課題にはなるとは思いますが、1つの特徴であるとは思いますが。

調査員

では続いて、日本文教出版についてお話しします。6年生の教科書をご覧いただくとよいかと思います。先ほど二次元コードについて、啓林館の話がありましたが、日本文教出版も二次元コード。例えば47ページを見ていただくと、二次元コードが載っていますけれども、それが何についての二次元コードなのか。よく

ある二次元コードは、撮ってみないとどんな内容であるか分からないというところが多いと思います。日本文教出版は、必ずそこに「見る問題だよ」、「練習問題だよ」というような説明が載っています。10ページをご覧いただくと具体的に分かります。二次元コードがそれぞれ何の動画なのか。「動かして理解を深めてみよう」、「ヒントの答えになっているよ」、「動画だよ」ということが6種類載っていて、二次元コードを実際に撮らなくても、内容が分かるようになっているところが1つの特徴です。

そして「レッツプログラミング」というページが全学年に2か所ほど設定されていて、6年生の場合には202ページに設定されています。このことから、情報教育についても考えられているところであると拝見しました。

2つ目です。2つ目は、学習を発展させる内容。例えば、今6年生の教科書を見ていただいていると思うので、142ページをご覧ください。算数の学習をした後、実生活につながるような形で発展させて考える内容が載っています。また、それぞれの学年の最後に、いわゆる1年間を振り返る問題というのはどの教科書にもありますが、251ページをご覧ください。自分で3段階に分けてチェックできる、「しっかりチェック」、「グッドチャレンジ」、「もっとジャンプ」という段階を追っているところがあります。また、それぞれが色分けされているため見やすく、解答もついているところが1つの特徴であると思います。

以上、6者の説明になります。ありがとうございました。

奥泉委員長

調査員の皆さん、6者、大変でしたね。とても分かりやすかったです。ただいまの報告について質問がありましたら、伺います。よろしく願いいたします。

委員

1点質問ですけれども、自分の経験とか、子どもの経験からいっても、算数は、数学に移行します。系統性という話になりますが、数学に移行するに当たって、スムーズにうまくつなげているなという教科書会社はあったでしょうか。

調査員

特徴的というか、見て分かると思ったのは、学校図書です。6年生の教科書に別冊がついています。これがついているのは学校図書だけです。この別冊が、中学校へのかけ橋ということで、数学につながる内容であり、見て分かりやすい特徴かなというふうには思います。ただ、ほかの教科書でも、例えば6年生の最後には、もちろん今までの復習や、あとは「レッツ・トライ」といつて、先の数学につながるような話題というのはどこの教科書にも出ているところだとは思いますが。

奥泉委員長	算数という教科の特性を知る上で非常に大事なご指摘だなと思います。
梶山副委員長	教育出版で「モジュール授業等の10～15分の短時間学習」というところ、もう少し具体的に説明してもらえればと思います。
調査員	<p>例えばですけれども、6年生の58ページ、分数の掛け算があります。ここで言うと、問題が短くなっていて、例えば1つの問題を10分、15分でやって、じゃ、それと似たような問題を次にやってみようというところで、1時間で2つ、3つの問題をやることを、1つの問題を15分やってみるとかというふうな分け方になっているというところなんです。例えば、同じ単元で言うと、62ページ。ここは、本当に細切れに問題が分かれているため、じゃ、ここも、四角の3番に関わることを15分やってみるとかというふうに分けて学習することができます。ただ、それも教育出版だけがそうになっているわけではなくて、こちらの教師側の対応ではあると思いますが、取りあえずここでやってみて、じゃ、次、15分ということとはほかの教科書でも対応できると思います。</p>
奥泉委員長	<p>意識をしながらということですね。 ほかにいかがですか。</p> <p>それでは、ほかにないようですので、審議に入ります。何かご意見または感想等ありましたら聞かせてください。お願いいたします。</p>
加来委員	啓林館さんの二次元コードの解説ですか。その内容が素晴らしいというか、ふと思ってしまったのは、教師がいなくなるかなぐらいのレベルでした。
調査員	実は、それについて私たち調べた調査員の中でも、これがあつたら、教師がいなくなるみたいな話はやっぱり出ていたところではあります。ただ、動画だと、もちろん繰り返して流すとかというのはできますけれども、例えばどこかを強調したり、受けている子どもに対して、例えばこの子たちはこの部分が弱いから、ここはちょっと重点的に指導したりとかというところはなかなか動画では……。ノーマルなものなので、そこはあるとは思いますが、実際にそういう話は私たちの間でも出ました。
加来委員	だから、学び直し、自主学習という形で関わると。分かりました。ありがとうございます。

奥泉委員長	<p>使い方が大事なことだと思います。そこは結構力が入ってきていますね、各教科書。算数だけではないです。</p>
山形委員	<p>どの教科書もすごく特徴を分かりやすく説明していただいたと思いましたが、授業をする側とすると、最初に説明いただいた東京書籍の目当てとまとめが一致しているようなところは、やっぱり教えるに当たって、ゴールが先に見えているのは魅力的なのかなと思いました。先ほど、啓林館の動画の話もありましたけれども、解説動画を自主学習とか、そのようなところで活用できるのは非常にいいなと素直に思いました。</p> <p>二次元コードは授業を振り返るといより、学習を振り返ったり、自分で深めたりというようにところで活用されるでしょうけれども、授業の中で、みんなで学ぶときに活用できるような二次元コードが入っていたら、今言っているだけで何も思いつかないですけれども、あったら楽しいなと思いました。</p>
奥泉委員長	<p>きっと広がっていきますよね。</p> <p>それでは、この報告書からどの部分を取り上げて採択資料としたらいいか、考えていきます。23ページの総合資料、先ほど説明がありましたけれども、ご覧ください。調査員からこの部分が特に特徴があるということで先ほども説明がありました。この総合資料に加筆または削除すべき事項がなければ、この内容を採択資料作成委員会の報告書として記載していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
一 同	<p>異議なし。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会へ報告します。調査員の方、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。</p>
調査員	<p>ありがとうございました。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、「理科」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦労さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしく願いいたします。</p>
調査員	<p>最初に、調査報告書33ページになりますので、よろしく願いします。私からは、東京書籍、大日本図書について説明させていただきます。</p> <p>まず、東京書籍の教科書6年生の90ページ、91ページをご覧ください</p>

調査員

ださい。全ての単元の導入に課題をつかむための活動「レッツトライ」を設定しております。見開き2ページにわたって単元に関連する写真を掲載し、児童の身近な場面から課題を設定することで、対話を通して思考を広げたり、合意形成をしたりすることができるように工夫されております。

続いて、184ページ以降のページをご覧ください。巻末の資料では、「書く・話す」、「深める」、「観察」、「実験」の4つの観点でまとめられており、ノートの書き方をはじめ、理科室の使い方や実験器具の取扱方などを掲載し、必要なときにすぐ確認できるようにしております。また、193ページには使い方を理解しよう、191ページに戻りますと意味を理解しようを設けており、使い方や仕組みの意味、理解を図ることができるようになっています。以上が東京書籍についてです。

続いて、大日本図書について説明いたします。教科書は6年生の52ページ、53ページをご覧ください。「りかのたまてばこ」という日常生活との関連のある資料や「Science World」という発展的な内容を多数掲載することで、児童の知的好奇心に応えとともに、知識と教養を高められるよう工夫されております。

続いて、226ページ、227ページをご覧ください。学習内容のより深い理解へとつながるために、地域の活動や博物館などの施設と連携を図り、学校では体験が困難な自然や科学に関する情報を広く扱っております。右下の二次元コードを読み取ると、各科学館や博物館のホームページを閲覧することができます。また、地域資料コンテンツ「自然観察スポット集」が、こちらにはないですが、ウェブサイトで公開されており、学習に使える身近な自然観察スポットを都道府県別に紹介し、学習に活用できるようになっています。特に地層について、すぐに見て、神奈川県内のものを比べたりすることができるようになっております。

次に、学校図書について説明します。教科書は6年生の151ページをご覧ください。各単元の終わりにもっと知りたいというコーナーを設けて、ここでは火山の噴火と地震について学習した後、地震と関連した建築士の仕事や火山の熱を利用した温泉、発電を紹介するなど、学習したことと関連した仕事や暮らしの紹介をしています。

また、214ページ、215ページをご覧ください。こちらでは仕事や暮らしだけでなく、科学者の実績や言葉を取り上げており、理科の重要性を実感できるような工夫がされています。また、各学年における教材、観察や実験などの活動が精選されており、体験を重視しつつ、ゆとりがあり、学習の深まりや発見、ものづくりなど、多様な学習につなげることができる分量となっています。

具体的には、どの学年も80%から90%の程度の時数で指導できるようになっています。42ページや203ページをご覧ください。予備時数の15時間程度を活用し、「もっと知りたい」や「やってみよう」を児童の実態に応じて発展的に取り組むことができます。また、その数も豊富で、選択肢が多いというのが特徴です。

次に、教育出版の説明をします。教科書は6年生の5ページと99ページを併せてご覧ください。まず、5ページには「自分たちの考えを伝えあい、学び合おう」というコーナーを設け、理科の学習の中でも国語科とのつながりを意識し、自分の考えを言葉できちんと伝え、相手の考えをしっかりと聞くことの大切さを示しています。また、99ページの下にある算数とのつながりでは、てこが水平に釣り合うときの決まりを比例、反比例の視点で考えられるように、算数の学習を振り返ることができるようになっています。次に、裏表紙をご覧ください。どの学年の教科書にも、その学年で行う観察や実験を行う際の注意、具体的事項を「理科の安全の手引き」として掲載し、いつでも安全に留意して学習を進めることができるよう工夫されていて、教科書を開かなくても、子どもの目に留まるようになっています。

最後に、啓林館の説明をします。6年生の教科書127ページをご覧ください。真ん中にあるような二次元コードが随所に掲載されており、協働的な学びをサポートする、操作するようなインタラクティブコンテンツをはじめ、動画やウェブサイトにリンクしている資料系コンテンツ、補充問題、動画解説など、個別最適な学びをサポートするような学習コンテンツなど、多様なコンテンツを豊富に用意しているのが特徴です。例えば82ページをご覧ください。まとめのページの右上にある二次元コードを読み込むと、問題形式の振り返りを行うことができます。また、83ページ右下をご覧ください。このスマート解説の二次元コードでは活用した発展的な問題が提示されており、その思考を助ける解説動画も見ることができるようになっていて、1人1台端末のICT環境を効果的に学びに活用できるよう工夫されています。

続いて、5年生の教科書2ページ、3ページをご覧ください。問題解決のケースを「学びのサイクルライン」でつなぐことで、児童、教師も見通しをもちやすい流れで示されています。

9ページをご覧ください。問題、アブラナの花はどんなつくりをしているのだろうかとあります。それに対応して、10ページにはまとめがありますが、問題とまとめのデザインをそろえることで対応関係が分かりやすくなっています。そして、その後次の問題が提示されるというように、問題解決の流れが「学びのサイクルライン」で見える化されています。また、図や写真を用いて分かりやすく示し、児童が見通しをもって、自ら観察や実験が行

<p>奥泉委員長</p>	<p>えるような工夫がされているというのが特徴です。 説明は以上になります。</p> <p>ただいまの報告について質問がありましたら、よろしくお願 いたします。</p> <p>ご質問等なければ審議に入ります。何かご意見または感想な でも結構ですので、ありましたら出していただければと思います。 お願いします。</p>
<p>盛委員</p>	<p>理科は、それぞれの教科書にいろいろな特徴があったと思いま す。PDCAサイクルとか、学習の視点が見える化されている教 科書もあって、子どもが学びやすいようになっているなどと思いま した。面白かったのは、裏を見ると危険なものの扱いがあって、 教科書を持っていなくても、開かなくても説明できるとか、そう いった工夫がされているのいいなと思いました。</p>
<p>和田委員</p>	<p>子どもたちがわくわくするような、どんな実験をするのかな、 観察をするのかなという目標をもちやすい教科書になっているの かなと思いました。特に理科の図鑑というか、参考書というか、 教師側もどのように教科書を使っていくかというところが問われ ていくのかななんていうようなこともこれを見ながら見ておりま した。ありがとうございました。</p>
<p>奥泉委員長 調査員</p>	<p>二次元コードはどの会社も理科にどんどん入っていますね。</p> <p>どの実験でも二次元コードが入っているのはもう当たり前によ うになっていて、その中にも確認できるものもあれば、今まで学 習したことをさらに振り返るための問題としてのコンテンツだっ たり、ちょっと中身が違う二次元コードもあったり、あと、いい なと思うところが、お休みしてしまった場合、その実験が見られ なかった、やらなかった場合、それで全部確認ができるという意 味でも、二次元コードが使われていることが大きなメリットかな と思います。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>いろいろな教科書を見せていただきましたが、理科は特に用い やすい科目というのはあると思いますけれども、多いですね。</p>
<p>山形委員</p>	<p>今、5年生の理科を教えているので、5年生の教科書を中心に 見させていただきました。細かいところですが、例えば東京書籍 ではピペットの持ち方みたいなものも、絵で示されているような 教科書もあったりして、何冊かありましたけれども、初任者の先</p>

<p>奥泉委員長</p>	<p>生方に言っても、ああ、そうなんですかというような感じのことも結構あります。教員側としても助かりますし、もちろん子どもたちも助かると思いました。</p> <p>あと、理科を指導して、1人1台端末、シンプルではありますがけれども、記録媒体としてのiPadの活用は非常に有効だと思いました。自分らが実験をやっている動画を撮れるというのは、非常に有効だなと思いました。これで振り返りも自分でできるので、例えば最後のところに動画や写真の撮り方とか、コンピューターの使い方みたいなものを書いてあって、非常にありがたいなと感じました。</p> <p>実際に教えられている目線で見えていただいた実験とありましたけれども、海老名小学校では低学年の観察なんかは理科が断然いいですね。それが残っていく、積み上がっていくというのが教科書の特性ではないかと思えますけれども、各教科書とも上手に使われているなと思いました。</p> <p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げていくかの協議に入ります。理科ですので、31ページの総合資料をご覧ください。こちらが今、2名から詳しく説明があった部分だと思います。この部分、特に加筆または削除すべき事項がなければ、この内容で採択資料作成委員会の報告書として記載したいんですが、皆さん、いかがでしょうか。</p>
<p>一 同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会へ報告いたします。調査員のお二人、どうもお疲れさまでした。大変でしたね。説明がとても分かりやすく、ありがとうございました。</p>
<p>調査員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、「生活」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦勞さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしく願いいたします。</p>
<p>調査員</p>	<p>では、よろしく願いします。まずは、調査結果の報告書41ページからになります。よろしく願いいたします。</p> <p>順番にご説明いたします。まず、私からは3者、お願いします。まず、東京書籍についてご説明いたします。東京書籍、主に下巻に特徴がございまして、例えば下巻の14ページをご覧ください。</p>

主に2年生が使う教科書です。下巻の14ページの下のところに「学びをふかめる」というコーナーがついています。ここに吹き出しがありまして、対話をしている様子が載っています。言語活動などを通して、子どもたちが気づいた「気づき」を関連づけたりとか、視点を変えて捉え直したりするなど「気づき」の質が高まる工夫がされています。

上巻の121ページをご覧ください。生き物図鑑というのが載っています。本当の大きさが載っているのですが、1年生などでは生活科で外に出る機会、2年生もたくさんあると思いますが、実際の大きさなどを見ながら子どもたちがいろいろな知識を深めたり、いろいろな植物を知ったりするきっかけになっております。121ページの隣、120ページにはデジタルコンテンツがついております。ここにアクセスしますと、ここでは例えば道具の使い方が動画で説明されます。先生の言葉だけでは伝わりにくい道具の使い方、安全性なども児童に伝わりやすくなっています。全体的にもいろいろなページにデジタルコンテンツがついております。

では次に、大日本図書について説明いたします。随所に「思考力・判断力・表現力」を図るためにカードに書く言語活動が多く掲載されています。また、下巻の119ページには、生活科ですと、子どもたちがいろいろな発表をしていく場面が多いですけれども、そこに、ポスター、新聞、紙芝居、図鑑、パンフレット、ペーパーアート、劇、地図、すごろく、スタンプラリーなど多くの例が載っていることで、子どもたちがただ単にカードに書いて発表だけではなく、いろいろな表現の仕方があるということが提示されております。

上巻の82ページをご覧ください。ぱっと開いて目に映るのはモノクロ写真です。通常カラーで印刷されることが多いのですが、あえて大日本図書はこのようにモノクロになっております。色への視点を投げかけ、想像する楽しさや実際の色を見て知る楽しさを実感することができます。

また、その1ページ前に戻りますと、ドングリが帽子をかぶったようなキャラクターが出てきます。この親しみやすいキャラクターがどのページにも結構出てきます。このキャラクターが話している言葉が子どもたちの目線になって、疑問や、やってみたいことを話しています。興味をもって、すぐに活動に移ることができるような工夫がされています。

では次に、学校図書について説明いたします。まずは上巻の47ページをお開きください。この発行者の特徴としては「ものしりノート」や「ものしり図鑑」という資料が多く掲載されていることだと思います。例えば上巻の47ページですと、アサガオのリース作りなどが載っています。どの発行者でもアサガオを育てると

調査員

いうことは載っていますが、リース作りや来年の1年生にあげるアサガオの種の袋の作成などが載っていることによって、子どもたちが実際に作りたいという思いや、作り方なども載っていることで活動のしやすさがあると思います。

また「ものしり図鑑」と先ほどお話ししましたが、68ページをご覧ください。68ページ、69ページとかには夏の虫の図鑑が載っています。こういった図鑑を多く取り入れていることで、子どもたちが教室の外、夏休みとかにも自分たちで探してみるとか、そういうことができるようなつくりになっています。

それから。見開き1ページということ載っています。見開き1ページに45分の流れとか児童の思いや願いが分かる構成になっていて、見通しをもって学習を進めることができるようなつくりになっています。

次に、教育出版についてご説明いたします。教育出版の上巻のページを開いていただくと、親しみやすいキャラクターと柱が示されていると思います。これは、下巻までずっと続いています。単元を通して、ずっと続いています。親しみやすいキャラクターや自分の思いに近い言葉を教科書から見つけることができるなど、様々な仕掛けがつけられているという特徴もあり、自分の思いに近い言葉というのは、例えば上巻の5ページを開くとそのキャラクターが、下の方ですけれども、「野菜って、どう育てるのかな」というふうに話しています。子どもたちが話しそうな言葉、思いに近い言葉が載っています。この「はっけんロード」をずっとたどっていくと、最後、下巻の107ページまで続いていて、2年生の生活科の最後の学習として実りの木にたどり着くようになっています。

同じく下巻の次のページ、109ページからは「学びのポケット」がついています。他教科との関連が明確に示されています。国語、算数、道徳、特別活動など、どの学習がどの教科と関わっているかが分かりやすく示されています。ちょっと戻りますが、下巻の43ページに行くと、発見3年「理科への窓」というところがあります。これは、3年生の学習につながる構成になっています。

では次、光村図書についてご説明いたします。絵本のような構成で、イラストや言葉から様々な思考を促すつくりになっており、「思考力・判断力・表現力等」の育成を図る工夫がされています。絵本のような構成というのは、例えば上巻の37ページをご覧ください。4コマのような感じで、上から順番に、「こんなこともあるかもね」ということで、子どもたちの気持ちや思い、言葉が載っているようなページがあります。親しみやすいキャラクターで、子どもたちが読みやすいつくりになっているのではないかなと感

	<p>じました。</p> <p>巻末に「きせつのなかまたち」「ひろがるせいかつじてん」など別冊の資料が充実しています。上巻で言うと、上巻の一番後ろ側に「きせつのなかまたち」、春から冬にかけての資料がついています。別冊の前のほうですね。外でも使いやすいなどの工夫がされていると感じます。切り取って単独で使うことも考えられますし、教科書と併用して使うこともできるかなと思います。</p> <p>それでは、次に啓林館についてご説明します。啓林館では「生きて働く知識・技能の習得」のために、「学びのヒント」「こんなときどうしよう」など、押さえるべきポイントが明確になっており、整理されているので、教師は指導しやすく、児童が分かりやすいつくりになっています。例えば下巻の17ページをご覧ください。17ページの上のほうに緑の部分で「学びのヒント」が設けられています。このような絵や文字を見ると、活動のしやすさが分かるかと思います。33ページの「こんなときどうしよう」という、先ほどと同じところに緑色で絵が描いてありますけれども、このように整理されているため、とても分かりやすく、指導もしやすいようになっています。</p> <p>各単元のページの右下にある「めくり言葉」というのも特徴です。例えば61ページをご覧ください。世界で一つ、私のおもちゃというおもちゃを作る単元ですけれども、集めたもので遊んでみようという言葉があって、次のページに進んでいきます。65ページに行くと、いろいろ学習していった、もっとパワーアップさせたいなという言葉で次のページに行きます。またさらに、もっとみんなで遊びたいなという言葉で、みんなで遊ぶというふうな感じで、どんどんめくっていきたくなるような工夫がされています。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
奥泉委員長	<p>ただいまの報告についてご質問等ありましたら、よろしく願います。</p>
	<p>生活科は教科書をめくっているのが楽しいですね。</p>
調査員	<p>写真や挿絵はたくさんあるなという感じがいたします。</p>
奥泉委員長	<p>もしご質問ないようでしたら、協議に入りたいと思います。ご意見または感想でも構いませんので、聞かせていただけたらと思います。よろしく願います。</p>
霜島委員	<p>数年間、小学校にいて低学年の子どもたちが本当に喜々として、朝、アサガオや、チューリップとか、自分の子どものように水をあげる姿を見ました。あとは、首からボードを下げて、一生懸命</p>

<p>奥泉委員長</p>	<p>観察して、こんなに大きくなったよって言っていたことが生活の時間であり、3年生の理科、社会へとつながっていく学習です。すごくそこに学習意欲が高い向上心を感じていました。総合資料の部分に知的好奇心を高める工夫の部分だったり、興味関心をもたせたりという視点で資料をまとめていただいていることが、分かりやすく、すごくいいなと思いました。お疲れさまでした。ありがとうございます。</p> <p>小学校の学習活動だけではなくて、学校生活のいろいろな基本のことがいっぱい含まれていると感じます。もしかしたら、コロナの状況で省略されていた活動がどんどん戻ってくるというか、広がってきているというか、そのための手助けになるような教科書に進化している気がします。子どもにとってもそうですし、教える側の視点もすごく入っています。あと、写真とかが有効とよく言われますけれども、実物大の写真って少ないですね。だから、実物大の絵を提示したりとか、モノクロの写真だったり、各社いろいろ工夫して、子どもの意欲を促していると感じます。</p> <p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるかというところなんですが、今お二人の調査員からお話があったものは39ページの総合資料辺りが中心になっていたかと思います。この総合資料に加筆または削除するべき事項がなければ、この内容で採択資料作成委員会の報告書として記載したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p>	<p>よろしい。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会へ報告いたしたいと思います。調査員のお二人、本当にありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">(休 憩)</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、午後の部、始めたいと思います。</p> <p>「音楽」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦労さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしく願いいたします。</p>
<p>調査員</p>	<p>調査報告書の49ページになります。総合資料は47ページです。よろしく願いします。</p> <p>教育出版から行きます。1点目が、教育基本法第2条(5)に関連して、我が国の伝統音楽や郷土で生まれた文化を、現代の児童が</p>

興味を持って理解し親しめるよう、豊富な写真や動画、生活に密着した資料などで紹介されています。耳なじみがよい言葉で「ソーラン節」をメインに扱っていたり、例えば、教科書を開いていただくと、教育出版4年生の40ページ、小学校の運動会ではよく「ソーラン節」を高学年で踊ったりするんですけども、それは4年生の段階で楽曲としてまず歌唱します。歌唱した後に掛け声などの民謡の独特な歌い方を学習し、鑑賞につなげていきます。42ページ、次のページをご覧ください。こちらには春夏秋冬を通してのお祭りが載っていきまして、各地域の有名なものを学習できるようになっています。このように児童が興味をもちやすいような楽曲設定となっております。

2つ目です。体を動かす活動や基本的技能の習熟に役立つ多彩な教材が、ワークシートや挿絵を交えて分かりやすく配置されています。4年生では、54ページ、55ページにオーボエがメインで出てくる「ノルウェー舞曲第2番」という曲が載っていますけれども、2つの旋律、メロディーがありまして、これを児童に分かりやすく提示した後に、どのような動きがあるのか、パートごとに書き込めるようなワークシートがついています。これは指導する方としては大変使いやすく、CDも分かれていますので、あと旋律印が入っていますので、子どもたちにも、こういう観点で聞いてくださいということが伝えやすい内容となっております。

3つ目です。他教科や外国語活動との関連を意識した教材やコラムが掲載されています。また、他学年との縦の活動も考慮した教材が扱われています。全学年ですけれども、英語の楽曲が入っています。今の4年生でいくと、74ページに、「アイ・ラブ・ザ・マウンテンズ」という曲が載っています。各学年とも、子供たちが歌いやすいような英語の曲が載っています。実は、4年生の最初の歌唱曲として「さくら さくら」が取り上げられていますので、流れをもって外国の言葉としても学習できるというふうに工夫されていると思います。

では、4つ目です。折り込みを使ったワイドな紙面で歌詞に忠実な美しい写真が掲載され、興味・関心を引く工夫がされています。こちらも、同じく4年生で見ていただくと、最初の方に戻りまして、10ページ、11ページに、福岡堰というところの桜の写真が掲載されています。折り込みを1つ折っていただくと二次元コードもありまして、こちらをタブレット端末などで読み込んでいただくと、こちらの桜の河川敷の映像が見れるようになっています。子どもたちは大変イメージがしやすく、楽曲への導入にとっても役立つと思います。以上が教育出版です。

2つ目の教育芸術社をお願いいたします。

1つ目です。教育基本法第2条(1)に関連して、音楽科の学習を

通して、幅広い知識と教養が身につけられるように、児童に身近なテーマで、音楽にまつわる特集やコラムが設けられています。幅広いというところで、6年生の教科書の24ページ。なかなか普段の学習では取り上げられないような著作権についての話が載っています。これは、私も初めて見たなというふうに感じています。確かに、これからの時代に必要な知識なのかなと思います。それから、同じく6年生の42ページ。こちらには、「ふるさと」という楽曲を学習した後に、地域の方へもインタビューしてみましようというふうに、ほかの教科にも広げていけるようなテーマで学習の進め方が載っています。人と人をつなぐというようなコラムも載ってまして、幅広い知識というところでこちらが使えると思います。

2つ目は、協働的な創作活動が充実しており、児童同士が対話しながら取り組めるよう工夫されております。同じく6年生の教科書で、18ページをご覧ください。こちらの会社の特徴としては、詳しく学習内容が指示されていて、パート練習、役割を決めるとか、和音がこのパートにあるとか、そのメロディーの役割が詳しく学習できるようになっています。これをさらに楽器を決めていたり、児童が自分たちで合奏につなげていたりできるような工夫がされています。ほかの曲でもありますけれども、例えば中学校1年生で歌うような「花」という楽曲は、原曲キーの楽譜で載っていたりして、かなり専門的な学習がしやすいような教科書のつくりになっています。

3つ目です。道徳や人権や意識した教材を取り入れ、学んだことが、自分の人生や社会に生かせるよう工夫がなされています。これは先ほどお話ししたように、著作権の問題であったり、地域の方へインタビューしてみたりということで、自分のこれからの社会に生かせるような工夫があるのではないかと考えています。最後です。写真中の歌詞は、背景を白にしたり配色を工夫したりすることで読みやすくするなど、ユニバーサルデザインが意識されています。例えば、今の6年生の教科書であれば、16ページの上の部分です。これは歌詞ではないですけれども、写真の中に文字を入りたい場合は、文字が読みやすいように周りが白抜きになっており、また使われている文字自体もユニバーサルデザインの文字であり、読みやすいつくりとなっています。総合的に特徴を言うと、教育出版は、児童が親しみやすい楽曲が多いです。教育芸術社は、専門的に学習を進められる楽曲が多いです。

奥泉委員長

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問等ありましたらよろしく申し上げます。

霜島委員	<p>教育出版の方で、体を動かす活動や基本的技能の習熟に役立つ多彩な教材がという説明がありましたが、教育芸術社の方では、技能評価としての教材としての配置という部分についてはあまりお話がありませんでした。そのあたりについて、調査の結果の中から教えてください。</p>
調査員	<p>身体表現が多い1年生の教科書で紹介させていただこうと思います。</p> <p>まず、教育出版の「音楽のおくりもの」からお願いします。4ページ、5ページをご覧ください。1年生の最初に学習する童謡などを取り上げる場面です。ここは、イラストがありまして、担任が黒板などに写して、これは何の歌かなというふうに、今まで知っている楽曲を問うような学習の進め方を行います。こちらも歌いながら、踊りながら扱います。18ページには、「ぶんぶんぶん」という楽曲もあります。こちらでは手を打ってリズムを打つような学習が入っています。そして、28ページ、「ドレミのうた」という学習では、体の腕の高さでドレミの高さを習得するという内容が掲載されています。</p> <p>同じように、今度は教育芸術社の1年生で説明したいと思います。6ページに、最初に身体表現を行い、音を聞いて動こうというものがあります。その後に、童謡などを見つけ、同じようなイラストから歌っていく場面が14ページにあります。ふだん使っているような言葉、「おはよう」、「こんにちは」、「〇〇さん」などから、手をたたいて、身体表現、リズムを習得していくような活動が入っています。どちらの教科書にも、「ひらいたひらいた」など手遊び歌を用いて、子どもたちが遊びの中から習得しやすい楽曲が含まれています。</p>
奥泉委員長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>もしないようなら、審議のほうに入ります。何かご意見、または感想等がありましたらお聞かせください。</p> <p>ここ数年、コロナで一番影響を受けた教科書ですね。音楽は。それもあって、各教科書会社いろいろ工夫しています。</p>
梶山副委員長	<p>SNSで音楽の配信とかもやってすごい状況になっていて、さっきの著作権というのは本当にタイムリーなものを教科書に取り入れていて、すごいなと思いました。感想です。</p>
奥泉委員長	<p>これについては、先生たちの意識も変えていかなくちゃいけないというのはすごくありますよね。</p> <p>ほかにいかがですか。</p>

山形委員	<p>説明していただいたことで、教育出版社は伝統音楽や郷土を大事にして扱っている教科書であるということ。そして、教育芸術社は、幅広い知識とかが得られること、音楽と他教科との関連を意識しているということが、私としては新鮮でした。どちらもいい特徴であり、聞いてよかったですと思います。ありがとうございます。</p>
奥泉委員長	<p>他教科との関連というのは、音楽に限らず、どんどん出てきていますね。なかなかできなかったことが今、子どもたちの中から音楽のパワーとしてあふれていますね。各種発表会なんかもこれから各学校でやるとは思いますけど、その思いをつくっているのが音楽の授業なんだろうなと感じています。これからそんなふうなのをもっともっと広がっていくといいですね。音楽や、家庭科の調理実習は、担当の先生たちが大変な思いをしているんだろうなと思っています。</p>
霜島委員	<p>教科の特性があって、音楽というのは技能教科であり、教科書はこういうふうにありますけど、指導する教員の個性を生かすというところが本当に大事で、それぞれの教科書で用いられている楽曲もみんな違って、重点を置いているところも違って、というところの説明があり、よく理解できました。</p> <p>特に、教育芸術社のほうの創作活動の充実や、著作権等の道徳や人権を意識した教材というところは、今までなかなかなかったところで、どうしても教科的に表現というところがメインになってしまう教科ですけども、創作のところ充実しているというところが聞いてよかったですと思います。そういったところに着目して、ご説明いただくことができました。ありがとうございます。</p>
奥泉委員長	<p>では、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるかというところになるんですが、47ページの総合資料をご覧いただくと、今、調査員の方から特に説明があった部分はこれに書かれているかなと思います。もしこの総合資料のほうで加筆または削除の部分がなければ、この内容で採択資料作成委員会の報告書として記載したいんですが、最終的に皆さんこれでよろしいですか。</p>
一 同	<p>異議なし。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成して、教育委員会へ報告します。調査員の方、お疲れさまでした。ありがとうございます。</p>

調査員	<p>ございました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、「図画工作」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦労さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしくお願いいたします。</p>
調査員	<p>では、調査報告書の53ページになります。</p> <p>まず初めに、開隆堂の教科書をご覧ください。「わくわくするね」と書いてある本がありますけれども、1・2年上の教科書です。開隆堂は、職業や生活との関連を重視し、全ての学年において教科書の巻頭に、いろいろな人々が造形活動に関わっている姿が取り上げられています。まず、1・2年生の教科書には、幼稚園の教諭から写真とメッセージが載っています。ほかの学年についても、それぞれ、例えば竹工芸家の方、舞台技術家や、アニメーション監督など、全ての学年において、職業の関わり方の写真とメッセージが載っております。</p> <p>次に、1・2年上の教科書の28ページをご覧ください。こちらの方には、題材名が「スタンプぺったん」ですけれども、友達と協力して表現する姿が描かれています。友達とお互いに協力し合って、互いの良さを感じられる題材が掲載されています。3・4年上の教科書では、42ページと43ページに、同じように友達と協力しながら活動する模様が載っております。また、高学年の5・6年上の教科書においては、48ページ、49ページをご覧ください。こちらにも友達と協力して表現する活動の題材が取り上げられています。</p> <p>次に、3点目といたしまして、最初に戻りますが、1・2年上の教科書をご覧ください。30ページと31ページです。ここでの題材は、「あそぼうよ、パクパクさん」です。見開き2ページの構成になっております。上段と下段にそれぞれまとめて必要な情報がありますので、学習の流れが分かりやすくなっています。上段の左の上のほうをご覧ください。こちらには、材料、「学習のめあて」が示されています。こちらの「学習のめあて」は、この題材の中で特に大切にしたいものに、下線がついてあります。この3つのめあてというのは、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、そして学びに向かう力、人間性等などです。以上で開隆堂の報告を終わりにします。</p> <p>次に、日本文教出版の報告をしたいと思えます。</p> <p>こちらにも最初に1・2年上の教科書をご覧ください。日本文教出版は、全ての学年において、「材料と用具のひきだし」というペ</p>

	<p>ページがあります。ページで言いますと、57ページになります。ここでは、材料や用具の使い方を含む、幅広い知識に加えて、日本文化や日用品との関わりが掲載されています。ページをめくっていただきますと、その学年の子どもたちが使う用具のことについて、使い方が丁寧に示されています。</p> <p>また、3・4年生の下巻の42ページと43ページをご覧ください。題材内容と関連の深い美術作品などが教科書美術館に掲載されています。その次の44ページ、45ページの「光のさしこむ絵」という題材の表現活動と鑑賞を傍観しながら学ぶことができる、そういう学習ができるよう工夫されています。</p> <p>最後に、3点目としましては、もう1度、1・2年の上をご覧ください。こちらの30、31ページです。こちらには、「図工のみかた」というページがあります。こちらも、全学年にわたって設けられ、掲載されているページとなります。どのような視点で物事を捉え、どのような考えで思考していくのかということが、このページの中で培われていくのではないかと思います。また、3・4年生の下巻をご覧ください。3・4年生下巻の16ページと17ページです。こちら先ほど紹介しました「図工のみかた」ですが、こちらには、「ひらめきの種」というページがあります。児童の発想や表現のヒントとなる投げかけが、写真やイラストで分かりやすく掲載されています。</p> <p>以上で図画工作科の調査報告を終わります。</p>
奥泉委員長	<p>ありがとうございます。それでは、ただいまの報告について質問等ありましたら聞かせてください。お願いします。</p>
山形委員	<p>先ほど開隆堂の5・6年上の教科書48、49ページで、クレイアニメーションが面白いなと率直に感じましたけれども、このクレイアニメーションのときのように、ICT機器、今の小学校で言うとiPadですね、iPadを図工にうまく使っている教材が、ほかにもありますか。</p>
調査員	<p>子どもたちが実際にiPadを使って共同でやるのは、このページしか確認しておりませんが、基本的に個別で一人でも学べるというところで、タブレットを利用した動画を確認したりするページは、至るところにあります。また、児童の参考作品なども豊富に掲載されています。</p>
奥泉委員長	<p>共同での学び、大事にしながらも、個別で学習できるという形もそろえていっているという感じですね。</p>

和田委員	<p>開隆堂の教科書の内容と構成において、各題材の紙面に、他教科での学習を生かしたり、関連づけたりという教科横断的な学習についての扱いがあれば、ご説明いただきたいです。</p>
調査員	<p>例を挙げさせていただきますと、例えば5・6年上の教科書の10ページ、11ページをご覧ください。他教科との関連についてですけれども、右下のところに、「あわせて学ぼう」というところがありまして、国語の自分のつくった秘密の景色について物語を膨らませて文章にしたり、特別活動、展覧会などでほかの学年の友達にも遊んでもらおうとしたり、算数との関連についても記載されております。どんな図形があるのか思い出してみようという他教科との関連が載っております。比較しますと、日本文教出版の方も同じように載ってはいますけれども、そこまで詳しく書いていない、教科名だけが書いてあるという形になっています。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございます。感想にはなりますけれども、素人目に見ても、同じ図画工作でこれほどコンセプトが違うのだなというふうに感じました。日本文教出版は、「とにかくつくろう」、「やってみよう」、「つくっちゃえみたいな」みたいな感じで、開隆堂の方は、作りながらもじっくりと創造性というか、そういうのを深めていこうみたいな、そんなコンセプトだと思いますけれども。ちなみに今の感覚で合っていますか。</p>
調査員	<p>合っていると思います。</p>
奥泉委員長	<p>いろいろな視点がありますね。感想の方にも入っていますが、ご意見、また感想があったら挙げていただければ。いかがですか。</p>
委員	<p>図画工作と、あとは、この前の音楽ですか、それは楽しむ科目ですから、内容を調査するというのは大変ご苦勞であったのかと思います。大変分かりやすかったです。ありがとうございます。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるか、協議になりますが、51ページの総合資料は調査委員さんから特徴として特に説明があった部分であります。この総合資料に加筆または削除すべき事項がなければ、この内容を採択資料作成委員会の報告書として記載していきたいと思いますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。</p>
一 同	<p>異議なし。</p>

奥泉委員長	<p>ありがとうございます。それでは、総合資料を基に採択資料を作成して、教育委員会へ報告したいと思います。調査員の方、ご苦労さまでした。</p>
調査員	<p>ありがとうございました。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、「家庭」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦労さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしくお願いいたします。</p>
調査員	<p>調査報告書57ページでございます。それでは、家庭科の調査結果について報告いたします。</p> <p>まず、東京書籍の「新しい家庭」についてお話しします。</p> <p>見開きの4ページをご覧ください。学習指導要領を基にスリーステップの流れで学習を進めていきます。「1 見つめよう」「2 計画しよう・実践しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」と段階を踏んで問題解決的な学習が展開できるようになっています。</p> <p>次に、前に戻って、1、2ページをお開きください。目次は、5年生、6年生で行う学習の流れが分かるようになっていて、見通しをもつことができます。5年生で8大題材、6年生で7大題材を扱う構成になっており、基礎基本から応用へと系統的に配列されていることで、学習の充実を図っています。今までの経験や成長を振り返り、自分の生活をよりよく工夫していこうという力を伸ばすことを狙いとしています。6年生で行う第11題材「夏を涼しくさわやかに」と、第14題材「冬を明るく暖かく」では、生活の視点から学習することができるよう、住まい方と生き方を複合的に扱っています。</p> <p>次に、6、7ページをお開きください。ここには2年間の成長の記録を児童自身が書き込むことができます。先ほどお話ししたスリーステップの後に、個人で記入、自己評価をすることで、「分かった」、「できた」が実感できたり、小まめな振り返りができたりします。学習したことを生かして、家庭でチャレンジしていきたいことを記録する欄もあり、児童のさらなる意欲や実践力につながるすることができます。</p> <p>最後に、30ページ、31ページをお開きください。どの単元もデジタルコンテンツが充実しており、調理や製作の手順が動画で細かく丁寧に説明されています。右上のDマークの二次元コードを読み込むことで、実際の動きの動画を手元で何度も確認することができます。ソーイング、玉結び、玉留めなどの学習では、どの児童も安心して取り組むことができそうです。また、左利きの基</p>

礎技能動画があり、どの児童も確実に基礎基本を押さえることができます。また、「食品ずかん」や日本各地の郷土料理など、調べ学習に最適な図鑑等を使い、発展的な学習を行うことも可能になっています。

続いて、開隆堂の「わたしたちの家庭科」についてお話をします。見開き4、5ページの目次をご覧ください。学習指導要領を基に、5年生の「生活を見つめ、できることを増やしていこう」では11大題材、6年生の「工夫して生活に生かそう」では9大題材を扱っており、2年間の系統性を意識したつくりになっています。例えば5年生では、「暖かい住まい方で快適に」、6年生では、「涼しい住まい方で快適にと」、2学年に分け、スパイラルに対比しながら学習することで、学んだことを積み上げていくことができます。

次に、6、7ページをお開きください。こちらも東京書籍と同様に、スリーステップの流れで学習を進めていきます。「1 気づく・見つける」、「2 わかる・できる」「3 生かす・深める」と課題解決的な学習を繰り返し行うことができるようになっていきます。単元の初め、ステップ1には、「なぜ調理をするのだろう」、「なぜ整理整頓をするのだろう」というように、自分たちの生活の中を振り返って考えることができるため、児童が課題設定しやすく、目的意識をもって学習を進めることができます。

また、表紙や各ページには、外国の児童や、車椅子に乗った児童、様々な年代の人々の写真やキャラクターを意図的に使用し、共に生きる、共生の視点に気づくことができるようにしています。多様性への配慮は、かながわ教育ビジョンにある思いやる力を育むことができます。

最後に、14ページ、15ページをお開きください。ゆでる調理の仕方が見開きのページで左から右へと手順が大きく明示されています。また、カラーユニバーサルデザインで全体を通して見やすい配色になっています。このような調理、製作実習の手順の構成は、全て横流れのデザインで統一されて、誰もが迷わず明確に理解することができます。

以上、報告いたします。

奥泉委員長

ただいまの報告についてご質問等ありましたらよろしくお願いたします。

ご質問等なければ、ご意見、ご感想を聞かせていただければ。

和田委員

家庭科はご説明があったとおり、系統的ということで、どの発行者も説明していただいたとおり、見通しをもって子どもが学習に取り組めるような構成になっているのかなというふうに思いま

<p>奥泉委員長</p>	<p>した。また、先ほどありました、右利きの教員が左利きはなかなか教えられないので、すごく工夫されていると思いました。</p> <p>ほかにいかがですか。確かに目次で見通しをもつというのはすごくいいというか、大事ことなのだけれども、見ていて非常に分かりやすいですね。</p>
<p>山形委員</p>	<p>動画等で身支度の仕方とか、手の洗い方というのを見ることができるよう工夫されていると思うのですが、調理実習のある日の朝を思い浮かべると、朝自習にそれをエンドレスに流しておいて、朝のうちに身支度しておくんだよというふうにして、ちゃんと子どもたちが自分で気づけるようにできると思いました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>音楽科のときにも言ったんですけども、コロナで一番大変だった教科かなと、調理実習は本当に誰もが分かりやすい形で関われるというのは、当たり前のことなですけども、大事なことです。家庭科、好きな子、多いです。やっぱり調理実習等で、ぜひそういった子たちが本当に分かりやすい形で取り組めるというのは大きなところかなと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、この報告書から採択資料としてどこの部分を取り入れたらいいか、協議となるのですが、家庭科については55ページの総合資料の中で、今、調査員さんからも2つの発行者の特徴、お話ししていただきました。ここの総合資料に加筆または削除すべきところがなければ、この形で採択資料作成委員会の報告書として記載していきたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、総合資料を基に採択資料を作成して、教育委員会へ報告いたします。調査員の方、お疲れさまでした。</p>
<p>調査員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、「保健」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦勞さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしくお願ひいたします。</p>
<p>調査員</p>	<p>調査報告書の61ページをご覧ください。それでは、順番にご説明していきたいと思ひます。</p> <p>まずは、東京書籍です。書名は「新しい保健」になります。</p>

教科書の3年生、4年生をご覧ください。各項が「ステップ1 気づく・見つける」「ステップ2 調べる・解決する」「ステップ3 深める・伝える」「ステップ4 まとめる・生かす」で構成されています。例えば、最初の5ページにあります。基本的にはこの4つのステップでしっかりまとめられている形式になっております。

また、10ページ、11ページをご覧ください。児童の生活場面を想起させる写真やイラストを提示して、児童が身近な例から健康について課題を見つけることができるように構成されています。これは特徴であると思います。

続いて、大日本書籍の「たのしい保健」です。

こちらはまず、高学年の5・6年生の教科書からご説明します。小中連携を意識して、発展的な学習内容として、中学校で学習する内容などを示したページがございます。例えば、28ページをご覧ください。こちらには鎖のマークがありまして、中学校という矢印が入っております。こちらは保健体育科中学2年生の「傷害の発生と要因の防止」という単元につながっていて、中学校の保健体育を学習する際に、小学校で学習した内容が円滑につながるような工夫がされております。中学年の3・4年生にも、高学年とのつながりについて記載があります。次に、10ページをご覧ください。「ここでまなぶこと」では、全て平仮名で表記されております。3年生で使う教科書なので、前の学年が2年生ということもあって、外来語等は片仮名で表記してあります。また、漢字は原則的に学習指導要領に示されている配当学年より1学年遅らせて使用しているということころもあり、3年生の最初に学ぶところは漢字が大変少なく、また振り仮名が振ってあって、平仮名で書いてあることが多くなっております。

続いて、大修館です。書名は「小学校保健」になります。5・6年生、高学年の教科書をご覧ください。19ページを見ていただくと、右下に「保健クイズにトライ」というマークと二次元コードがあると思います。こちらは、1人1台端末環境下での学習活動をサポートできるように、二次元コードが随所に掲載されております。動画やウェブサイト、シミュレーションなどで詳しく学ぶことができる工夫が見られます。

そして、単元終わりに「保健クイズにトライ」という内容が毎回ついておりまして、その単元で習った内容がクイズでもう1回学べる、復習できるという仕組みになっております。高学年の57ページをご覧ください。学習指導要領の目標及び内容が漏れなく指導できるように単元を配置し、1時間で見開き2ページを基本構成として教材の分量が適量になっております。次のページを見ていただくと、見開きで最初から最後まで説明する内容が、基本構

成になっております。ちょっと資料が多いところでは、3ページになっているところもありますけれども、基本的には見開きで授業を進めることができます。

続いて、文教社の「わたしたちの保健」、こちらは中学年の教科書をご覧ください。17ページをご覧ください。こちらには、右下に「もっと考えよう課」というコーナーがあります。このようなコーナーを設けて、児童自身が学習により関心をもてるような情報が記載されております。36ページ、17ページでは、コロナウイルス感染症対策に関する内容もあります。各発行者、コロナウイルスについてはそれぞれの場所で説明がなされております。

続いて、19ページの「わたしの健康宣言」というところをご覧ください。こちらは学習したこと、理解したことを踏まえ、児童同士で考えを伝え合うことで、より自信をもってこれからの生活や学習に向き合えるようにみんなで宣言しようというページが設定されております。各単元の終わりにこのように、自分が学んだことをみんなに発表する取組ができる教科書になっております。

続いて5者目、光文書院の「小学保健」です。高学年の教科書をご覧ください。まずは、4ページ、5ページ、最初のほうになります。学習の進め方についてです。各単元の学習過程が、「1自分の生活を振り返る」、「2学習の課題をつかむ」、「3課題解決に向けて学習活動をする」、「4学習をまとめる」、「5自分の生活に生かす」で構成されております。ほかの発行者は、3ステップ、4ステップが多いですけれども、光文書院は、5ステップでまとめていることが特徴だと思いました。

また、32ページをご覧ください。こちらの左下ですけれども、ページの横に小さく3年社会と書いてあります。3年の社会科では、消防署や警察が互いに協力し合っというふうには、他教科との関連をマークで示し、カリキュラムマネジメントの観点から、教科横断的な指導が活用できるような配慮があります。また、44ページでは、「家庭科のところがありますよ」と説明されており、何年で習うとか、単元名だけという教科書が多いんですけれども、光文書院の場合は丁寧に説明が書いてあるので、先生方も説明しやすいかなというふうには感じました。

続いて、学研になります。高学年、5・6年生の教科書15ページをご覧ください。右下に、「ほけんのはこ」というコーナーが設けられております。幅広い知識を身につけ、思考・判断・表現をする力を養うための「ほけんのはこ」が単元ごとに設定されております。33ページを見てみると、自動車や自転車の特性ということで、内輪差だとか、車の死角などが図で説明されており、分かりやすく解説されております。

67ページをご覧ください。こちらには、「かがくの目」というコ

	<p>一ナーがあります。実験や拡大した写真などを中心とした資料が設けてあります。こういった科学的な資料で目に見えない事象を可視化することで、児童が科学的に理解、認識ができるような工夫がされております。72ページにも同じように、目には見えないところがあります。こちらが飲酒の影響が、健康な人とお酒を飲み過ぎてしまった人では、縮んだ脳と正常な脳だという違いが、目に見えないところで科学的な資料として見るができるという形です。</p> <p>以上で保健科の調査報告を終了します。</p>
奥泉委員長	<p>ありがとうございます。ただいまの説明についてですが、ご質問がある方はいらっしゃいますか。</p>
山形委員	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>保健を自分で教える際にいろいろと工夫するところであったり、配慮したりするようなところで、4年生の心と体の変化みたいな思春期に向けての体の変化というようなところは、いろいろと配慮しながら教えていくようなところではあります。今、この内容とは、直接関わりないのかもしれないですが、この教科書を何冊か読ませていただいた中で、昨今、かなり話題になっている性的マイノリティーについての扱いが、調査をしていく中でありましたか。</p>
調査員	<p>「もっと考えよう課」のところで、ジェンダーについて書かれています。ちょうど3・4年生の性のについては、各者それぞれイラストもかなり工夫していて、体の表現、どこまで表現するか、やっぱり子どもが見て、嫌だなと思う子もいます。イラストについては、各者工夫されていると思いました。</p>
奥泉委員長	<p>まさにこれから大事にしていくべきところですよ。ほかにいかがでしょうか。もし、無ければ協議に入りますので、感想、またはご意見でも構いませんが、何かありましたら。</p>
盛委員	<p>各者、扱う内容は同じことですがけれども、持っていく方とか、発展の仕方とか、振り返りとか、いろいろワークシートみたいなのがついている教科書があるかなと思っています。あと、今見たデータのところとか、これから教科書がどんどん変わっていかねければいけないかなと、自分の命のこととか、自然災害とか、事故のこととかも載っているため、それも、これだけある中でどれが本当に生徒、児童のためになるのか、自分で意識してそういう行動ができるのか、分かりやすい教科書を選んでいくのが非常</p>

<p>奥泉委員長</p>	<p>に大切なのかなというふう実感しました。</p> <p>調査員からいろいろと特徴、説明がありました。ほか、どうでしょうか、感想でも構いませんが、ありましたら。</p> <p>皆さん、よろしいですかね。</p> <p>それでは、この報告書から、どこの部分を採択資料として取り上げていくかということになりますが、59ページの総合資料、このところを調査員のほうから、今、各発行者の特徴を含めて説明がありました。ここの総合資料について加筆または削除すべき事項がなければ、この内容で採択資料として報告書に掲載したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成して、教育委員会へ報告したいと思います。調査員の方、お疲れさまでした。</p>
<p>調査員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ここで休憩して、再開は14時35分からとします。</p> <p>(休 憩)</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、「英語」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦労さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしく願いいたします。</p>
<p>調査員</p>	<p>それでは、順番にご説明いたします。調査報告書69ページになります。</p> <p>初めに、東京書籍「NEW HORIZON Elementary」からお話をさせていただきます。こちらでは、自ら進んで学習に取り組める工夫が様々な場面でありました。5年生の教科書の9ページをご覧ください。9ページには、「ユアプラン」という欄が設けられており、各ユニットの初めに自分の目標を設定することで自発的に学ぶことができるようになっていきます。見通しをもってスモールステップで各活動に取り組むことができるように工夫されています。</p> <p>続いて、「My Picture Dictionary」、こちらは茶色の冊子になりますが、42ページをご覧ください。こちらには、CAN-DOリストを「CAN-DOの樹」として示し、児童がイメージしやすいよう工夫されています。5・6年生を通じた学びを見通すことができ、</p>

明確な到達点に向かって学習を進められるよう工夫されています。

続いて、5年生の24ページをご覧ください。各ユニットに設定されている「Over the Horizon」では、視野を世界へと広げることができるようになっていきます。児童が外国に興味を持つきっかけにもなるような内容が各ユニットに掲載されています。

そして、東京書籍のユニバーサルデザインについては、教科書が大判化されておりまして、文字が見やすく、単語を探しやすいように工夫されています。

続いて、開隆堂の「Junior Sunshine」になります。自分の成長や課題を確かめながら学習に取り組む工夫がされています。まず、5年生の128ページをご覧ください。こちらにも、CAN-DOチェックを載せておりまして、見開きで見られるように、ゴールが一覧で確認することができるようになっております。児童が1年間の見通しをもてる工夫がされていました。

そして、5年生の教科書。24ページをご覧ください。25ページのすぐ上のところに社会、理科、特別活動といったアイコンのマークがございます。児童の興味、関心を高めるために単元の学習内容と他教科や、今日的な教育課題との関連が表示されています。他教科とのつながりが一目で分かる工夫がされていました。

開隆堂「Sunshine」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るために、ペアやグループでの言語活動が多く設定され、音声や映像のデジタルコンテンツが豊富に用意されています。デジタルコンテンツは操作性もよく、見やすく使いやすい工夫がされていました。

続いて、三省堂、「CROWN jr.」に行きます。こちらでは、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り）」、「発表」、そして、「書くこと」の言語活動がバランスよく配置されていました。それぞれの授業が音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズに進められるように構成されています。

5年生の教科書、11ページをご覧ください。こちらのページの右上に示されていますが、ユニットごとに「HOP」、見通しをもって、「STEP」、語句や表現を学び、「JUMP」、発表といった構成となっていました。児童がユニットのゴールに向けて見通しをもって学習に取り組み、児童の考えや気持ちを表現する力を身につけることができるよう工夫されています。

14ページをご覧ください。1時間で見開き1ページの構成になっており、児童にとって見やすく取り組みやすい構成になっています。三省堂では、聞く活動を多く取り入れていて、音声で十分にインプットされた語彙表現をアウトアップした後に、読むこと、書くことの活動につなげられており、知識が身につけやすくなる

ように工夫されていました。

ユニバーサルデザインについては、イラストや写真が多く、児童にとって見やすいように大判（A4判）が採用されています。

では、続きまして、教育出版の「ONE WORLD Smiles」の説明をしたいと思います。こちらの教科書なのですが、初めのうちは、「聞くこと」、「話すこと」が中心の構成となっています。アルファベットを書く活動はありますが、72ページの下の方で初めて英語の文を書く活動が入っています。

また、66ページから69ページには、日本の名所や名物が載っており、社会科と関連づけられています。86ページには、1年生の道徳の教材、「はしのうえのおおかみ」が載っており、他教科との関連が図られています。最後に、教科書を、数ページ見ていただくと分かると思いますが、非常にシンプルな紙面構成で、単元構成や学習内容も分かりやすい教科書となっております。教育出版は以上となります。

続いて、光村図書の「Here We Go！」です。5年生の17ページをお開きください。17ページの上のほうに、「Hop」「Step 1」「Step 2」「Jump！」と書かれています。各ユニットでこのようになっており、段階を踏んだ共通の構成になっています。基礎的な知識、技能から、思考力、判断力、表現力を養う言語活動へと手順を分かりやすく示した教科書となっております。

また、教科書の9ページをご覧ください。「聞く」、「読む」、「話す（やり取り）」、「話す」、「発表」の5領域がバランスよく配置されていることが分かると思います。

最後に、60ページをご覧ください。60ページの上のほうに、車椅子バスケットボール選手に着目したストーリーが載っております。誰もが参画できる社会をつくろうとする姿勢を養う工夫がされています。光村図書は、以上です。

最後に啓林館の「Blue Sky elementary」です。5年生、15ページをご覧ください。15ページの上の方にあるチャンツ、こちらのチャンツに字幕がついており、音と文字とを関連させて練習することができます。

13ページをご覧ください。「step 1」、「step 2」、「step 3」で、聞く、話す活動を繰り返し行っており、スモールステップで学習を進めることができます。

この教科書は、世界各地の小学生が話す英語を聞くことができます。18ページの「Friends around the World」です。また、教科書20ページで、彼らの生活を知ることができ、コミュニケーションに必要な見方、考え方を育てる工夫がされています。

以上で外国語科の調査報告を終了します。

奥泉委員長	<p>ありがとうございます。ただいまの報告についてご質問等ありましたらよろしくお願いたします</p> <p>何も無ければ、審議に入りたいと思います。御意見、または感想等何かあったらぜひ聞かせてください。</p>
加来委員	<p>各者それぞれ特色があって、いいと思いますが、光村図書の特徴として挙げられているのは、5領域の言語活動がバランスよく配置されているということで、その特徴は調査員の中では調査して記載していることが僕はいいいと思います。やはり小さい頃、僕なんかが中学で英語をやったときには、まずアルファベットの書き取りからやって、つまらなくて面白くなかったんですよ。今、高校もそうですけれども、語学ですから、耳から聞いて、それを話すというようなことで、ある一種、トレーニングというのがあるわけですね。僕らも日本語を覚えたときというのは、聞いて、しゃべって、覚えていったという、だから、それが昔はなくて、つまらなかった、今はとても僕は、こういう授業をしてほしかったなと思っていますね。</p>
梶山副委員長	<p>私は、中学校の教員ですけれども、小学校から中学校に英語の力をつけて入学してくれているから、すごいやりやすいというのは英語科の教員が言っています。ありがとうございます。</p> <p>先ほど加来委員がおっしゃっているとおり、最初に外国語を小学校に導入したときは本当にコミュニケーションというか、話す、聞くが中心の教科書だった気がします。やっぱりこうやって改訂していくと、どうしても文科省で領域をバランスよくとか、そっちに視点が行ってしまうことが見ていて、やっぱり気になりました。最初に導入された頃の教科書は、読んでいて、とても面白いなと思いました。中学校の教科書と違うなど、そのとき直感で感じたのですけれども、中学校の教科書に近づいてきてしまったと思います。個人的には。小学生だから英語に楽しいなとか、慣れることが第一の目的のような気がします。ありがとうございます。</p>
奥泉委員長	<p>今話し合われた内容で採択資料作成委員会の資料の報告書として記載していきたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
一 同	<p>よろしい。</p>
奥泉委員長	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成して、教育委員会へ報告したいと思います。調査員の方、お疲れさまでした。</p>

調査員	ありがとうございました。
奥泉委員長	<p>それでは、「道徳」をお願いします。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変ご苦勞さまです。では早速ですが、調査結果の報告をよろしくお願いいたします。</p>
調査員	<p>調査報告書の77ページをご覧ください。教科書は全てで6冊ありますので、よろしくお願います。</p> <p>まず、東京書籍です。6年生の2ページ目、目次をご覧ください。かながわ教育ビジョンに示されている「人づくりの段階と目標」に関連して、全学年でいじめ問題に関わる教材が3つ用意されています。「いじめについて」、「命について」、それから、「自分について」と書かれているところです。時期的には6月、9月、1月という感じで、意図的に配置がされています。このように多角的、多面的に考えられるように工夫されています。また、全学年で、情報モラルに関する教材が用意されており、道徳的価値と関連させながら系統的に情報活用能力を身につけられるように構成されています。東京書籍は以上です。</p> <p>次に、教育出版について報告いたします。6年生の教科書の12ページをご覧ください。児童の理解が深まる構成に関して、学習内容に関連する映像や写真等を見ることができる「まなびリンク」という二次元コードが掲載されています。12ページでは、「ブランコ乗りとピエロ」のタイトルの下のところに、二次元コードが掲載されています。そして、主体的・対話的で深い学びに関して、教材名の下部に導入に関する発問が記載されていて、児童における学びの視点がそろうように工夫されています。具体的に言うと、12ページの左下にキャラクターが、自分とは違う考え方を受け入れることって難しいよねという形で、この教材の中で学ぶことの視点がそろうように配慮がされております。教育出版に関しては以上になります。</p> <p>続いて、光村図書です。6年生の教科書で報告します。学びの視点やめあてが示され、さらに問いが段階を追って構成されていて、児童が1時間の見通しをもって学ぶことができるように工夫されているとあります。教科書10ページ、「ぬくもり」という教材をご覧ください。最初の教材ですが、「道徳の学び方」というのが下に示されています。このように子どもたちが1時間どんなふうにも勉強するのかということが分かりやすく教科書のレイアウトで示されています。そして、教材の最後には段階を追って学びのめあて、学びが深まるような問いが構成されています。それから、いじめ問題や情報モラル、環境問題等の現代的な課題について、教材だけではなく、コラムも併せた形で構成されていて、共感的</p>

に学べるように工夫されています。光村図書は以上です。

次に、日本文教出版の報告をいたします。日本文教出版の大きな特徴は、道徳ノートと教科書という形で分かれているところが大きな特徴となっております。説明では、6年生の教科書を使わせていただきたいと思います。別冊の道徳ノートを見ていただきますと、このように枠の部分と罫線の部分という形で分かれて、記述メモができるようになっております。道徳ノートの使い方に関しても、表紙のところの下部に、道徳ノートの使い方というのが記されていて、使っていくと比較的考えを深めることにつながっていくというような構成で成り立っております。あとは、話し合いを行うことが効果的な教材の後に「ぐっと深める」というものが掲載されており、主体的、対話的で深い学びが実現できるよう工夫されています。6年生の教科書の96ページを見ていただくと、「手品師」という教材の中で「ぐっと深める」の部分があります。見ていただくと、迷いながらも、男の子との約束を選んだ手品師の思いを考えてみようということ、具体的に考える場面というものをここで設定しているため、指導の際にも役立つという構成になっております。日本文教出版は以上になります。

続いて光文書院です。同じく6年生の教科書で説明したいと思います。目次にありますが、かながわ教育ビジョンに示された〔思いやる力〕について、複数の教材と関連づけて、いじめ・人権を考える学習活動ユニットが組み立てられています。6ページをご覧ください。子どもたちが教材を通して、多面的、多角的に考えを深めることができるように、発達段階に応じた思考ツールを示しています。これは道徳の授業にかかわらず、使用されたり、活用したりできる思考ツールだと思いますが、このように示されているので、先生がどのように使うかはまた別ですけれども、使うときに、子どもたちにこれを示しながら使うこともできると思います。このような形で、子どもたちがより自分の思考を深めていたり、広めていたりすることができるようになっていることが特徴となっております。光文書院は以上です。

最後に、学研について報告をいたします。6年生の教科書で説明したいと思います。大きな特徴は、巻末にある「つなげよう ひろげよう」の中で、1年間の学びや自らの成長の振り返りを行い、課題や目標を見つける学習活動が設定されている部分です。学習で心に残った話や出来事であったりだとか、心に残った言葉であったり、6年生になると、中学生になる自分へメッセージを送るといった活動が振り返られるようになっています。また、最重点テーマを命とし、3本のユニットで構成されています。教科書の4ページ、5ページをご覧ください。4ページ、5ページは目次となっております。6年生の教科書で言うと、5番「捨てられた

	<p>ペットたち」、20番「命を見つめて」、30番「その思いを受け継いで」というような3本の命に関するユニットが組みられています。議論のテーマ例については、「深めよう・自分の進む道は自分で決める」で示すなど、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考えられるように工夫されています。具体的には、教科書の143ページになりますが、「つかもう」、「探そう」、「見つめよう」という構成になっていて、学びがさらに深まるように構成されています。学研については以上になります。</p> <p>以上で道徳科の調査報告を終了します。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、まずご質問ある方いらっしゃいますか。非常に盛りだくさんの内容なので、少し見ていただいてもいいかなと思うんですが。</p>
<p>山形委員</p>	<p>全ての教科を全部聞いていて道徳なので、そう感じるかもしれないのですが、他教科から道徳への関連は結構聞くのですが、道徳から逆にというか、道徳からほかの教科への関連というのは、どこかの教科書にありましたか。</p>
<p>調査員</p>	<p>教科との関わりに関しては、例えば教育出版であれば、6年生だと20番の「みんなが幸せに暮らせる社会」で、世界人権宣言が示すものとか、歴史の学習とかの部分で、いろいろリンクしている部分があるのではないかと思います。</p>
<p>調査員</p>	<p>一番後ろに載っている巻末の教材の表があるのでけれども、そこで他教科との関連というのは大体どの教科書も載っています。</p>
<p>■■■委員</p>	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>そもそも道徳が特別な教科になった理由にいじめの問題というのが背景にあったと認識しています。どの出版社を見ましても、いじめについては取り上げているというふうに思いました。ただ、そのボリュームというか、取り上げ方というか、記述の仕方というか、そういうのはやっぱり教科書会社によってばらばらだとは思いますが、何か特徴的なところがあつたのであれば教えていただきたいなと思います。</p>
<p>調査員</p>	<p>主に掲載の仕方として、年間でまとめて一時期に取り扱うという教科書と、6月、9月、1月など、時期を分散して教材を配置している場合の2つがあると思います。それから共通しているのは、教材だけではなく、教材と教材であったり、教材とコラムという形で、教材で学んだことがより深まるようにユニットという</p>

	<p>言葉が使われているのですけれども、そういう形で理解や学びが深まるようになっていきます。ボリュームはそれほど大きく変わりはないかなと思います。</p>
<p>■ 委員</p>	<p>つまり、年間を通して随時やっていくやり方と、あと集中してやるやり方という考え方ですか。</p>
<p>調査員</p>	<p>そうですね。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>大事な視点ですよ。ほかにいかがですか。 ないようであれば、ご意見、感想等聞かせていただければと思います。</p>
<p>盛委員</p>	<p>情報モラルとか、いじめの問題とか、そういうのは絶対扱うべきものだけど、より児童に考えやすい、考えさせたい教材をどう選定していくのかなというのが大切だと思います。また、見ていてワークシート形式であるとか、ノートがついていたら新しくノートを買わなくてもよいとか、そういったいろいろな工夫がされているなと思いました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>ほか、いかがですか。</p>
<p>霜島委員</p>	<p>調査、お疲れさまでした。道徳も、様々な経緯があって教科化されて、教科化される前も、私たちが学級担任をやっているときももちろん道徳の指導はしていましたが、重点としているところ、いじめ問題ですとか、人権のことですとか、あとは思いやりとか、命とか、そういうところの視点で調査のほうに報告していただいた部分で、すごく参考になりました。 海老名の子どもたちにどういう教材を使って、道徳の授業をやるのが一番いいのかということを考えていただいて、選定していただければ、すごくいいなというふうに思っています。そういう意味では、現場で実際に道徳の授業をされているお2人が調査をして、このような情報を出していただけたので、参考になるかなと思います。ありがとうございました。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるか協議になりますが、75ページの総合資料ですね、こちらが2名の調査員のほうからも特に各社の特徴ある部分ということで、さっきお話がありました。もし、この総合資料の中で加筆または削除する事項がなければ、この内容を採択資料作成委員会の報告書として記載していきたいと思います。よろしいでしょうか。</p>

一 同	異議なし。
奥泉委員長	ありがとうございます。それでは、この総合資料を基に採択資料を作成して、教育委員会へ報告したいと思います。調査員の皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。
調査員	ありがとうございました。 (休 憩)
奥泉委員長	それでは、ここからは学校意見の集計結果について審議を行います。 事務局から資料を配付してください。 学校意見の集計方法等について、事務局から説明をしてください。
事務局	では、ご説明申し上げます。 参考までに今の資料の1ページ、表紙を開けていただいて、国語の表を見ながら聞いていただければと思います 海老名市内の小学校には、1週間ずつ教科書を回覧いたしました。その際に教職員の意見を学校長の承認の下、学校意見としてまとめ、提出していただきました。 初めに、学校意見の観点についてご説明申し上げます。 各種目の観点は、10観点あります。そのうち上から6観点は、全ての種目、教科で共通の観点となっております。表で言いますと、丸で始まる上の6つになります。 その下、7つ目から9つ目の丸については、教科や種目別の観点となっております。表で言うと、四角で示された3つでございます。 最後の観点は、各校の児童の実態から見て適切かというところで、各校での判断、観点でつけていただいています。星印の10観点目でございます。 学校意見の記入は、この10個の観点到って当てはまる教科書に丸をつけていただく方法で、複数回答も可いたしました。したがって、全ての発行者の教科書に丸がついている観点もございます。この用紙の中にある数字は、その丸の数を集計したもので、市内の小学校は全部で13校ございますので、13とあれば、全ての学校が当てはまると丸をつけた数ということになります。 そして、観点ごと、最も多い数字には網かけがしてあります。例えば、国語の第1観点目で言いますと、光村の教科書が13校全ての学校で丸がついたということで、網かけがなされているということになっております。この集計につきましては、採択資料作

<p>奥泉委員長</p>	<p>成委員会委員長が委嘱した整理員が行いました。</p> <p>それでは、学校意見の集計結果を報告書にどのように記載するか審議していきます。学校意見の集計結果について、私のほうで発行者ごとに特色のある観点を言っていきます。特色のある観点は網かけしてある観点から選択いたします。網かけをしている観点がいない発行者は、数字の多い観点から選択をいたします。数字が同じ場合は、よりその発行者の特徴が出ていると考えられる観点を選びます。私の申し上げる観点を選択肢の作成委員会報告書に記載してよろしいか、ご審議ください。</p> <p>まず、1 ページ目の国語です。</p> <p>東書は、学校から、児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているという意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、学習要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>それでは、次に、2 ページ目の書写です。</p> <p>東書は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、各内容の分量とその配分が適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>奥泉委員長</p>	<p>次に、3 ページ目の社会科です。</p> <p>東書は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫</p>

<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>異議なし。</p>
<p>一 同</p>	<p>次に、4ページ目の地図です。</p> <p>東書は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>帝国は、学校から、各内容の分量とその配分は適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>異議なし。</p> <p>次に、5ページ目、算数です。</p> <p>東書は、学校から、数学的活用を通して基礎的、基本的な知識及び技能を身につけるための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>大日本は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>学校図書は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>啓林館は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>異議なし。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>続きまして、6ページ目、理科です。</p> <p>東書は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>大日本は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p>

<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>学図は、学校から、各内容の分量とその配分が適切であると意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>啓林館は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>異議なし。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>次に、7ページ目、生活科です。</p> <p>東書は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>大日本は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>学図は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、児童にとって分かりやすく、理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>啓林館は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>異議なし。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>続きまして、8ページ目、音楽です。</p> <p>教出は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教芸は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>異議なし。</p> <p>次に、9ページ目、図工です。</p>

<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>開隆堂は、学校から、児童の実態から見て適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>異議なし。</p> <p>10ページ目、家庭科です。</p> <p>東書は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>開隆堂は、学校から、日常生活に必要となる基礎的な知識及び技能の習得を図るために、実践的、体系的な活動を題材として取り上げるなど、工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか、よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>異議なし。</p> <p>続きまして、11ページ目、保健になります。</p> <p>東書は、学校から、文章表現や漢字、用語、記号、計量単位、図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>大日本は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>大修館は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>文教社は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光文は、学校から、学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている意見が多くあった。</p> <p>学研は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>よろしいでしょうか。いかがでしょうか。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>異議なし。</p> <p>続きまして、12ページ目、英語です。</p> <p>東書は、学校から、国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の暮らしや歴史、文化、自然などが児童の発</p>

<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>達段階の興味、関心に即しているなど工夫や配慮がなされているとの多くあった。</p> <p>開隆堂は、学校から、学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>三省堂は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた指導や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>啓林館は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>異議なし。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p>	<p>次に、13ページ目、道徳です。</p> <p>東書は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているという意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、小学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光文は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善点等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>学研は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
<p>一 同</p> <p>奥泉委員長</p> <p>事務局</p>	<p>異議なし。</p> <p>では、審議事項は全て終わりましたので、事務局にお戻ししたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>長時間にわたり、お疲れさまでした。この後、事務局のほうで、</p>

<p>一 同 事務局</p>	<p>本日ご審議いただいた内容を採択資料作成委員会の報告書案としてまとめます。それを奥泉委員長に見ていただき、最終報告書としたいと思いますが、その確認については奥泉委員長に一任でよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし。</p> <p>それでは、奥泉委員長に確認していただいた報告書を教育委員会の資料とさせていただきます。</p> <p>教科書採択についての最終決定は、今月の7月21日の教育委員会定例会となります。その会議には奥泉委員長にご出席いただき、採択資料作成委員会報告書に基づいて説明をしていただきます。奥泉委員長、よろしくお願いします。</p> <p>また、皆様のお名前及び議事録については、先ほど最初に冒頭で理事からお話があったと思うのですが、8月末以降に、公開請求があれば、その対象となりますので、ご承知おきください。</p> <p>なお、本日お配りさせていただきました資料及び事前に送付させていただきました資料は、全て自席に置いて帰るようお願いいたします。</p> <p>それでは、閉会の言葉を麻生専任参事より申し上げます。</p>
<p>麻生専任参事</p>	<p>改めまして、本日はお忙しい中、1日日程の長時間、大変ありがとうございました。本来、事務局でいろいろ対応すべきところ、机上の整頓ですとか、教科書の運搬ですとか、そのあたりもお力添えいただきまして、本当に感謝申し上げます。</p> <p>また、奥泉委員長におかれましては、長時間、長い進行、有意義な中身の濃い採択委員会にさせていただきまして、本当にありがとうございました。21日もまたよろしく願いいたします。</p> <p>今ありましたが、今日の内容については8月末まで部外秘というところでご配慮いただければと思います。</p> <p>では、こちらで終了したいと思います。本日はありがとうございました。</p>